





特 18
825
卷 2



山陽遺稿卷之四

賴襄 子成著

己丑

元日

去年殘燭影微微。今歲朝陽來到遲。四十九年非與是。依違宿醉未醒時。

養成

全體細川頼之八巨魁ヲ弟カテ坊主ニ成テ謝天山寺ニ入テ居タ
十代足利ニ代將軍義満カマシム一尚幼弱ニシテ二代將軍義隆ニ頼
之ニ任事考御一ツ髪ヲハシテソラニテ幼弱ニ義満ヲ養ヒタケテク
我々我之義論ニ命ニ使テ義満ヲ多クシテ足利家ヲコシタリ
巨身ノ下ニ多満ニ成テ年ニウマレテ至テ勇氣ニツヨクシタリ
八二字氏ニツクリニホコ伝字ヲカキテ八十ノ

四十一是は伝平
テニ敵テ平九
派ヲサトル伝
か中ニサトル
平年ノ名非
ト示クラン
人告上ニ云
マズ平

特 18
825
2



山陽遺稿卷之四

賴襄 子成著

己丑

元日

去年殘燭影微微。今歲朝陽來到遲。四十九年非與是。依
違宿醉未醒時。

養成

全體細川頼之八巨魁ヲ初カテ坊主ニ成テ謝テ山寺ヲ入テ居タ
ナレ足利三代將軍義満ガマダ一尙幼弱ニハソコニ二代將軍義詮ガ頼
之ニ何卒考御一ツ髪ヲハシテソコニ幼弱ニ義満ヲ養ヒタケテクカト
頼之ガ義詮ノ命ニ使テ義満ヲタケテ足利家ヲコシタリ身成
伝ハ身ノ一ニ多満ニ成レシ年ニウマレテ至テ勇氣ノツヨクシタリ身成
ハ二字氏ニツクリニホコ伝字ヲカキテナリ

甲一是は平
乙二敵天甲九
丙三サトル
丁中ニサトル
戊年ノ名非是
ト示クラン

特 18
825
卷 2



山陽遺稿卷之四

賴襄 子成著

己丑

元日

去年殘燭影微微。今歲朝陽來到遲。四十九年非與是。依
韋因卒未屋寺。

甲子一是一區平
乙未天甲九
非ヲサトル
甲中ニサトル
甲年ノ名非
ト云ク
ト云ク

旗幟

醒コト君ハ世間ノ人ノ一ニテ今度足利三代將軍ニ成テ旗幟
ヨヒ出テ多ククセセクセムヘク頼之ノ向佛室草子掃蕪云行子禪
榻臥清凡

特 18
825
卷 2



山陽遺稿卷之四

賴襄 子成著

己丑

元日

去年殘燭影微微。今歲朝陽來到遲。四十九年非與是。依
違宿醉未醒時。

題畫

春寒臥我廬。看此春山圖。欲題新句去。研凍不容書。

細川賴之

養成弱主身。宮成拔得強。臣眼裏。丁。旗幟精明君。莫怪。清

拔得丁
臣下又
卷之四
丁巳

甲一是一
非中ニサ
平年ノ名
ト云ク
依草
九カ
天ノ
カニ

風禪榻喚翁醒

賴之

十一日夜飲于後藤氏歸途所見

宮漏沈沈月在空。夾街萬樹玉玲瓏。紫宸朱雀知何處。三

十六宮春雪中。

十日夜飯... 詩... 詞... 各別... 詩...

客程

紅... 客路... 新曆...

文會

山陽... 文...

賜

客在

紅... 歸轎... 凡...

昌平友

紅... 江戶... 別堂...

爐火通紅湯沸。鑪瓶中梅萼數枝明。付君清福能消受。更向窻閒著雪聲。

山陽... 別室... 三...

○付君清福... 君... 雪... 景... 景...

遊歷

春... 遊歷... 文章...

再與仲穎話別

詩... 格別... 五律...

青燈綠酒自情親。明日行裝趁路塵。游歷當追少年日。文章方遇太平春。意中桑梓程猶遠。望裏芙蓉雪正新。老病尋常重離別。未道天涯如比鄰。

碧窓

紅... 碧窓... 文章...

試調

紅... 試調... 文章...

紅... 試調... 文章...

矣

風禪榻喚翁醒

賴之

十一日夜飲于後藤氏歸途所見

宮漏沈沈月在空。夾街萬樹玉玲瓏。紫宸朱雀知何處。三十六宮春雪中。

十一日夜飯一氏之詩。コレハ寺町上ノ仙洞。四書道。所ノ本。新。多色ヲ吟。是。三。南。テ。本。夕。モ。ハ。サ。三。三。名。別。ナ。詩。ハ。方。極。

客程

江ノ仲穎ガコレカス京都ヲ夢シテ

文會

江ノ山陽ノウチテ。文。テ。モ。作。テ。仲。穎。ノ。送。別。

寒在

紅。コレノ新。聯。ガ。ド。フ。モ。オ。モ。ノ。帰。轡。一。凡。ハ。ハ。コレ。カ。ラ。仲。穎。ガ。轡。ニ。乘。ソ。

昌平友

江ノ仲穎ハモト。江戸ノ別堂。モ。居。タ。人。ニ。列。仲。穎。ガ。別。堂。テ。也。ツ。ク。ニ。テ。テ。ル。

向窓閒著雪聲

爐火一明。し。コ。ニ。句。ハ。山。陽。ノ。ウ。チ。別。室。ニ。アル。モ。ナ。ク。

○付君情福。一。離。君。ハ。雪。華。師。ノ。ト。テ。山。陽。ガ。君。ハ。イ。ワ。レ。ル。ニ。ハ。コ。ノ。如。ク。如。ク。風。景。ノ。ヨ。キ。情。福。ヲ。ヨ。ク。ウ。ケ。テ。キ。ク。更。シ。テ。窓。ノ。カ。ラ。東。山。ノ。ツ。ク。モ。ツ。テ。テ。ル。雪。ヲ。ド。カ。ミ。テ。テ。如。ク。ヨ。ロ。シ。カ。ク。フ。カ。ヤ。ト。云。タ。ク。

遊歷

春。シ。テ。山。陽。ガ。仲。穎。ハ。イ。ワ。レ。ル。ニ。ハ。文章。ヲ。遊。歴。ス。ル。ニ。ハ。冷。か。一。番。目。ノ。イ。ソ。ク。オ。ク。ハ。マ。タ。少。年。テ。ハ。バ。ル。シ。直。又。コレ。モ。大。平。ノ。世。ニ。ナ。ク。バ。イ。セ。リ。

再與仲穎話別

詩。モ。格。別。ナ。初。モ。ナ。イ。カ。ル。ト。併。三。夕。ラ。カ。レ。ハ。隨。分。直。云。フ。

青燈綠酒自情親。明日行裝趁路塵。游歷當追少年日。文章方遇太平春。意中桑梓程猶遠。望裏芙蓉雪正新。老病尋常重離別。未道天涯如此鄰。

○遊。歴。一。番。目。ノ。イ。ソ。ク。オ。ク。ハ。マ。タ。少。年。テ。ハ。バ。ル。シ。直。又。コレ。モ。大。平。ノ。世。ニ。ナ。ク。バ。イ。セ。リ。

碧窓

江ノ下。度。梅。ノ。シ。ヲ。タ。シ。タ。梅。ノ。ヨ。リ。ハ。ハ。高。窓。ノ。氣。ハ。シ。ヲ。ク。レ。シ。ウ。ヘ。テ。ヨ。リ。カ。レ。ヒ。ト。シ。○。高。窓。

江ノ高。窓。ヤ。キ。ノ。花。イ。ケ。ル。カ。モ。イ。テ。ツ。イ。テ。ヒ。ビ。ク。レ。シ。梅。ノ。花。

試調

ソ。テ。試。ニ。ケ。バ。イ。名。ウ。ラ。シ。テ。調。ノ。下。思。ハ。バ。マ。シ。ロ。イ。ノ。カ。ハ。シ。キ。ニ。イ。テ。ツ。イ。テ。シ。マ。ウ。シ。テ。カ。ナ。ワ。ン。云。フ。

紅。雪。ノ。日。曠。ハ。ホ。フ。ク。ボ。ノ。一。テ。紅。雪。樓。上。曠。ハ。ハ。別。酒。ニ。碎。カ。フ。ニ。テ。コ。ラ。サ。ム。テ。ハ。酒。ニ。碎。カ。フ。ニ。テ。コ。ラ。サ。ム。テ。ハ。酒。ニ。

風禪榻喚翁醒

賴之

十一日夜飲于後藤氏歸途所見

宮漏沈沈月在空。夾街萬樹玉玲瓏。紫宸朱雀知何處。三十六宮春雪中。

上元送添川仲穎東歸

客程新曆日。文會舊窻櫺。寒在梅華碧。宵深蠟燭紅。離觴上元酒。歸轎半春風。還遇昌平友。能談及此翁。并山陽自序

雲華師來吾書課未了。延之別室。爐火通紅湯沸鑊。瓶中梅萼數枝明。付君清福能消受。更向窻閒著雪聲。

○付君清福。君。雲華師。之。山陽。自。序。如。景。ヨキ。情。福。ヨク。ウケ。テ。下。文。シ。窓。と。カラ。東。山。ツ。モ。ツ。テ。雪。下。カ。ミ。テ。の。極。ヨ。ロ。シ。カ。フ。カ。ヤ。ト。云。々。

○遊。春。山。陽。仲。穎。ノ。イ。ワ。レ。ル。ニ。文章。天。遊。歴。ス。ル。ニ。冷。か。一。番。直。イ。ソ。ヨ。ク。イ。ハ。マ。タ。少。年。テ。ハ。バ。ル。シ。直。又。コ。レ。モ。大。平。ノ。世。ナ。ク。バ。イ。カ。レ。ト。

再與仲穎話別詩。五。律。三。句。ラ。カ。レ。ハ。路。多。直。云。々。

青燈綠酒自情親。明日行裝趁路塵。游歷當追少年日。文章方遇太平春。意中桑梓程猶遠。望裏芙蓉雪正新。老病尋常重離別。未道天涯如比鄰。

春寒詞

雪裏烏輪凍不飛。紫鳳蹙翼半棲機。春蔥尖尖紅玉屯。不任金鍼縫春衣。碧窻梅華同愁絕。哥窑一瓶曉欲裂。試調眉暈脂水凝。紅霞上臉知何日。

浪華邂逅草場珮川訪余於備後去今二十年矣

○浪。華。邂逅。草。場。珮。川。訪。余。於。備。後。去。今。二。十。年。矣。コ。レ。ハ。中。ニ。ヨ。シ。作。テ。アル。ト。ナ。シ。云。々。

水勢 隱 長之次郡宅や山陽道にシラス
斯郷 際 此の山陰道に方へかして
○尋古詩三宮官界

綴補 時 昔 夜酌 龍憶 持 萬千本
時 昔 夜酌 龍憶 持 萬千本
綴補 時 昔 夜酌 龍憶 持 萬千本

綴補 時 昔 夜酌 龍憶 持 萬千本
綴補 時 昔 夜酌 龍憶 持 萬千本
綴補 時 昔 夜酌 龍憶 持 萬千本

今来 遺 思君 軀殼 保護 舟輿路
今来 遺 思君 軀殼 保護 舟輿路
今来 遺 思君 軀殼 保護 舟輿路

今来 遺 思君 軀殼 保護 舟輿路
今来 遺 思君 軀殼 保護 舟輿路
今来 遺 思君 軀殼 保護 舟輿路

○題司馬仲達觀武侯營址圖

コ送テラレルニハ
ハイツカトハ白髪
ニシツテ御名

水勢 陰 辰三次郡山陽道にシテ
斯郷一際 辰三次郡山陽道にシテ
大濕氣ヲテテ新レテワズトカ
イカシ

綴補 一時 辰三次郡山陽道にシテ
昔 南將シテ芳野ヲカシ
辰三次郡山陽道にシテ

夜酌 辰三次郡山陽道にシテ
辰三次郡山陽道にシテ

尤憶 持辰南將一巻ヲモシ
辰三次郡山陽道にシテ

蹟適足記當時夜酌菟川驛卯飲藏王祠尤憶千株店泛

持其 追辰南將一巻ヲモシ
辰三次郡山陽道にシテ

今来 道 辰三次郡山陽道にシテ
辰三次郡山陽道にシテ

思君 磁 辰三次郡山陽道にシテ
辰三次郡山陽道にシテ

軀殼 辰三次郡山陽道にシテ
辰三次郡山陽道にシテ

保護 辰三次郡山陽道にシテ
辰三次郡山陽道にシテ

逆流 辰三次郡山陽道にシテ
辰三次郡山陽道にシテ

驛門右折路橫斜。亂柳疎篁舊隱家。鳧鴨不知人已逝。猶隨流水嘜梅花。

尋杏翁三次官解

○尋杏翁三次官解詩六首 密容攢地脊。水勢赴山陰。吾叔衰遲久。斯鄉瘴癘深。遙攜一尊酒。欲慰七旬心。對醉春燈底。雪明檐外林。

吾嘗獻家叔磁杯攜之南遊誤破更補及歸省齋往再獻

隨君遊芳野。獻君以酒卮。云是廣東窰。金骨土為肌。恃其墮不碎。攜將上厓巖。輿夫手誤壓。毀損嘻難追。綴補存痕迹。適足記當時。夜酌菟川驛。卯飲藏王祠。尤憶千株店。泛

詩其追一云
天相室天可多
芳野山余
シタヨマアソ
ナリ

精神精神ヲ多クシテコサル知コイモオカクナモノク
格ニ持テカレト太仙曰
昔無體昔無體
ウイニ外ニ物ヲ
シモヨイト云ノ

花傳相持。今來遠省覲。囊齋充歸遺。盈之思君堅剛性。比似金質磁。軀殼無少虧。貯神醇不醜。苟無外患虐。不須丹液醫。保護子姪責。承歡及期頤。

○子晦從弟上計趨國府與偕即事詩六首

雪汁增春漲。雨聲來夜船。逆流篙力竭。上陸炬明牽。同汝舟輿路。思吾鞋鞮年。暗泥行已過。驛酒再陶然。

○漢辨亭憶昔詩六首

重乘漢辨驛。南舟憶伴吾翁趨。石州垂髻荏苒成。霜鬢三十二年如水流。

○題司馬仲達觀武侯營址圖

重乘漢辨驛
石州垂髻
荏苒成
霜鬢三十二年如水流

吾能

伝司馬仲達が諸葛武侯死シテモソイカッテ得ウタナシクエハソコテ
俗語云々司馬仲達死シテ諸葛武侯ヲソルト云テ西コヲ云
タテ司馬仲達ガソルソルハアレシキテソルモスガルガ死シテモハ
天カレセ云々ニテ云々古本ハ大史甲若シテ卷三十五丁在知生テソル
此語ハ伝司馬仲達ガ生ヲ料テ死ヲ分ラズト云々ハ大イニ愚癡ナ言
ナレシヤキナルソカシコイモ云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

朝起

伝ハサテ山陽吉田ニ宿シテ天朝ヲキテミレハ晴天ニ山河カ眉ヲツラ子ク
如ク明ニミルニヨテソト思ヒ出シテ杖ヲツイテ先利元就ノ墓所ヲ尋ル
隱匿 時ハ墓所ノ辺ニテ身居テドガクツテ云々云々云々云々云々云々云々云々云々

山崩

伝ハ吉田邊ノ山カ多ク崩テ用イシカクニスト河氷ナドヲヒサテ云々云々
果信 伝ハ北軍危子氏ノ軍ニテテ軍ガ元就ノガリコヲ為テコロツマケテ
援軍 伝ハ危子氏ノ軍ガドイテテ築テテ大久吉田ノ山ノ間ニテ云々云々
形勢 史ハ吉田邊ノ山ノ形勢ガフルイ歴史ニカキテアルト云々云々云々云々云々云々
未テシテ云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

乃祖

伝ハ乃祖先利ノ先祖廣元ノ事ニテ大仁廣元ノ丁度葛文若ハ云々云々云々云々
此公 伝ハ元就ノ丁度孫權ノ父ノ孫權討逆ニ類シテ云々云々云々云々云々云々云々云々

大兒

伝ハ元就ノ子ノ事ニテ云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
休比 伝ハ昔ニ吳主皓ガ面縛車轡ニ降参シテ晉ノ汝陽ニイッテ云々云々云々云々云々云々云々云々

頗

伝ハ吳越ノ錢氏ノ人ガ行深ニ方ノ降参ノ書付テイレテ云々云々云々云々云々云々云々云々云々
錢氏 伝ハソテ錢氏モ云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
共ニ福ハ長イ伝ハ丁度云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

展墓

伝ハ墓所ノ年法云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
具慶 伝ハ具慶ハ云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
外母 伝ハ外母ハ云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

吾能——
俗語云、司馬仲達死シテモ、ソノイカツテ得、ウタナシクユヘソコテ
タス、司馬仲達ガ、ヲハソシテ、ハアレシキテ、ヲルモ、タスナルガ、死シテモ、ハソ
モ、カレセ、云々、ニテ、セ、古事、ハ、大史、異、卷、三十五、丁、右、如、生、テ、ナル、ハ、
此語——
司馬仲達ガ、生、ヲ、料、テ、死、ヲ、分、ス、ト、云、ク、ハ、大、イ、愚、癡、ナ、言、
ナレ、氏、ヲ、ヤ、エ、ナ、レ、コ、カ、レ、コ、イ、言、モ、云、ク、ハ、一、テ、云、ク、言、ハ、快、ク、ハ、ウ、

朝起——
登——
山陽吉田ニ宿シテ、天朝ヲキテ、ミレハ、晴天ニ、山河ガ、眉ヲツラシ、
如シ、明ニ、ミル、ソ、テ、ソ、ト、思、ヒ、出、シ、テ、杖、ヲ、モ、ツ、イ、テ、先、利、元、就、ノ、墓、所、ヲ、尋、ル、
隨道——
時ハ、墓、所、ノ、道、ガ、教、主、ニ、シ、テ、身、居、テ、ド、ガ、ツ、テ、ヲ、ル、ノ、ヲ、云、フ、
山崩——
水——
吉田邊ノ山ガ、多ク、崩、異、ヲ、用、イ、ツ、妙、ク、ニ、ソ、ツ、ト、河、水、ナ、ド、ヲ、ヒ、カ、テ、ヲ、ル、ノ、ヲ、
果信——
北軍、危子、氏、ノ、軍、ヲ、テ、
援軍——
危子、氏、ノ、軍、ガ、ド、イ、テ、
形勢——
史、云、吉、田、邊、ノ、山、ノ、形、勢、ガ、フ、ル、イ、歴、史、ニ、カ、イ、テ、アル、ハ、遠、テ、ヲ、ル、ソ、ト、云、ク、ハ、ヤ、ヨ、テ、
未、テ、シ、テ、ハ、ホ、ト、下、知、レ、シ、レ、下、云、ク、ハ、ウ、

乃祖——
祖、乃、祖、先、利、先、祖、廣、元、ノ、一、テ、大、江、廣、元、丁、度、葛、文、若、ハ、テ、ヲ、ル、云、フ、
三、テ、葛、文、若、ハ、人、ノ、漢、ノ、家、ヲ、テ、魏、ノ、曹、操、ヲ、タ、ス、ケ、タ、ク、ハ、廣、元、モ、丁、度、
之、祖、リ、テ、朝、廷、ノ、高、宗、ヲ、テ、イ、カ、ラ、者、朝、ヲ、タ、ス、ケ、タ、ク、ハ、
此公——
元、就、ノ、丁、度、孫、權、ノ、父、ノ、孫、權、討、逆、ノ、類、シ、テ、ヲ、ル、人、ノ、ヤ、ウ、
大兒——
策、元、就、ノ、人、ノ、悍、カ、虎、ヤ、龍、ヤ、ト、キ、モ、テ、丁、度、江、東、ノ、孫、權、孫、策、
兄弟、ノ、好、ナ、モ、ト、ヤ、ウ、
休比——
昔、吳、主、皓、ガ、面、縛、車、轅、シ、テ、降、糸、シ、テ、晉、ノ、汝、陽、ニ、イ、ツ、ク、也、ク、
シ、テ、元、就、ヲ、シ、ラ、ラ、ル、ガ、ソ、シ、テ、ハ、ヤ、ル、カ、ヨ、イ、云、フ、
頗——
吳、越、ノ、錢、氏、后、人、ガ、行、深、ノ、方、ノ、降、糸、ノ、書、付、テ、イ、レ、テ、汗、原、ニ、
攻、テ、カ、ル、ガ、元、就、モ、丁、度、ヲ、圍、リ、毛、利、ノ、未、カ、徳、川、ニ、降、糸、シ、テ、從、テ、ヲ、ル、ノ、
ヲ、云、フ、

展墓——
辰——
墓、所、ノ、年、法、ス、ル、コ、ト、キ、シ、ヤ、ウ、
何、故、ニ、ハ、明、皇、忌、辰、ナ、レ、キ、
具慶——
具、慶、ハ、二、親、アル、ノ、ニ、テ、二、親、ア、ツ、カ、シ、ヤ、
巨、丁、ニ、
外、母、ガ、
弟、后、ノ、ハ、イ、ワ、ズ、シ、テ、シ、レ、テ、クル、ハ、

御有——目兵馬仲達孫葛武侯——の天下の奇才也云々
 足見——服兵司馬仲達孫葛武侯——の天下の奇才也云々
 奇才也云々
 足見——服兵司馬仲達孫葛武侯——の天下の奇才也云々

舍舟夜投吉田驛心記江公創業跡猛雨打興暗箭集河

當時——牙兵サテ毛利元就が時尚テ自分眼コラス尼子春久尾張守
 春方ノ二家ヲナシテ居ッテヨテカテイササ成テ山陰山陽ノ
 ナケ國モ毛利ノ旗ノ利ヲ相シテ御フ
 風濤——令兵元就が吉田元尼子氏モ七ツ件モ敵軍ヲ春方ヲ元ニ夕件モ雨ガ
 フツ天モ利ノ号令ヲタタケル
 黃金——車兵元就ノ嚴詰ノイクサハマ下ニキテトヤコイツタ

乃祖——乃祖毛利先祖廣元——大に廣元丁度葛文若ハタル広
 乃祖——乃祖毛利先祖廣元——大に廣元丁度葛文若ハタル広
 乃祖——乃祖毛利先祖廣元——大に廣元丁度葛文若ハタル広

此公——元就丁度孫權ノ父ノ孫權討逆ノ類ニテフル人ナリ
 大兒——策広元就ノ人ノ悍ハ虎ヤ龍ヤトキモ矣丁度江東ノ孫權孫策
 兄弟ニシテ好ナモトヤロ

休比——兵昔兵主皓ハ面縛車ノ類ニテ降参シテ晉ノ洛陽ニツクル
 兵昔兵主皓ハ面縛車ノ類ニテ降参シテ晉ノ洛陽ニツクル

頗似——兵吳越ノ錢氏后ノ人ガ行深ニ方降参ノ書付ヌイレテ汗深ニ
 兵吳越ノ錢氏后ノ人ガ行深ニ方降参ノ書付ヌイレテ汗深ニ

錢氏——兵ハソテ錢氏モ汗深ニ方降参シテ晋ノ洛陽ニツクル
 兵ハソテ錢氏モ汗深ニ方降参シテ晋ノ洛陽ニツクル

公才——兵元就ノ才ハ錢氏ノ先祖武肅王ヨリハ什倍ニテフル
 兵元就ノ才ハ錢氏ノ先祖武肅王ヨリハ什倍ニテフル

後儒——「后世に儒者、誰か天武侯を諱らざるは、モハアリハセヌホシク、陳善ヤ、杜南、云々のヲ、至極左將、リ云テ、アルバ、イ、ジヤ」
 不苦——「后、諸葛武侯、後、之、ヲ、マ、ケ、ニ、云、ク、ハ、敵、ノ、司、馬、伊、達、ノ、ミ、カ、テ、テ、ク、ノ、ニ、ハ、カ、ナ、ワ、シ、ク、之、ノ、ナ、イ、」

舍舟夜投吉田驛心計江公倉業跡狂同才興日青集
 漲聲開萬刀戟朝起山河列眉明策杖獨尋公墳塋塋上
 老木槁不死隧道深嚴華表峙仰瞻城墟連雲起山開鳥
 翼襟河水曹山在背猪山面果信北軍墮計裏援軍孤壘
 在其間形勢頗殊舊閱史當時眼已無二家終使十州拱
 旗牙河堤西指嚴嶋路想見出師誅豕蛇風濤雷雨助號

心記 伝吉田
 三浦テ四ニ記スルニサテ
 コノクニテ昔モ利元
 就カ業ヲハジメテ戦ヒ
 フシク如ク元朝大
 江廣元ノ至キ
 極雨打集一戦
 臣毛利元朝カ吉田
 尼子春久臣モヲ攻
 口シク件ハ極ニ雨元
 純カホヲ打テ暗箭
 ハトガ集ツテソレモ
 コノ河ハ漲テ高クエラシクカカヲノ想見一蛇ハ長ク元朝カ業跡ヲ狂同才興日青集
 ルツテ春久ヲホロボサシタリ

想見一蛇ハ長ク元朝カ業跡ヲ狂同才興日青集
 物思物ハ尾張守春久ヲ誅シテシラシトコロシヤトオモフ

恨無——「堂」 忠堂ハ事跡ノマシキ碑ニハ石碑ニハ石碑文カカイテアルガ
 元朝ノ石碑ニハ何モモシクヤク文章ノカイテナイノヲウラム也
 土非——「綽」 伝ハ山陰山陽ノ方土地モヤセテ居ルニ民力モウスイケモ利物
 勤儉——「伝主人」 儉約シテイケハ國ハトニナカイ何モヤセ田地ノ土地シヤニ
 鼓舞——「伝主人」 鼓舞拜シテ出掛テサイ子ハ兵ヲシテニヨワイモノシヤニヨテ
 玉帶名——「伝」 毛利主ヲ世帯シタリ名馬ニシテスル格ナリゴッククハ一寸モ
 ヤクモシニ一生経タシヨトテテウナリテ集テテタシ人ノ

山陽史生通集卷四

吉田曰 一云八陳
壽加武侯 一云
三云 武侯 八丁
管仲 蕭何 劉
房 何 云 云

死諸葛生仲達。吾能料生不料死。此語大癡。乃小黠。卻有
天下奇才。目足見英雄。心真服壽。曰管蕭流甫曰伊呂儔
後儒贊頌雷全耳。不若公論出敵讎。

○吉田驛感毛利典厩事作

舍舟夜投吉田驛。心記江公創業跡。猛雨打輿暗箭集。河
漲聲聞萬刀戟。朝起山河列眉明。策杖獨尋公墳塋。塋上
老木槁不死。隧道深嚴華表峙。仰瞻城墟連雲起。山開鳥
翼襟河水。曹山在背猪山面。果信北軍墮計裏。援軍孤壘
在其間。形勢頗殊舊閱史。當時眼已無二家。終使十州拱
旗牙。河堤西指嚴嶋路。想見出師誅豕蛇。風濤雷雨助號

吉田驛之詩 至此
詩中 前篇 詩三
アハセヌ
心記 伝吉田
三伯テ心ニ記スルハサテ
コノクニテ昔モ毛利元
就業ヲハジツテ戦ヒ
メシク知ヤ元就大
江廣元々至キ
○猛雨打輿 一戰
巨毛利元就カ吉田
尾子春久居モテ攻
コトクハ誠ニ雨カ元
就カホヲ打テ暗箭
集ツテ云々
○河堤西指嚴嶋路 想見 此ハ八丁元就カ遺跡ニ於テ存スル
ルツテ春久ヲホサシメテ
想見 此ハ八丁元就カ遺跡ニ於テ存スル
物思物 尾張守春久ヲ誅シテシラシトコロニヤトオモフ

百怪 巨毛利カ遺跡ニ於テ春久ヲシテ存スルハ中ニ有リテモ感心シテ
ヲシテ元就カ後ニアルハ其カヤクシテ存スルハ春久カ毛利ノ主人
大内氏ヲ殺シタカキテトツテシマツタユ

請詔 一傳元就カ
天子カテ詔書ヲ下サテ
春久ヲ伐クニマコトキ
フヤカ夫所サシヤク
○洒掃 一伝元就カ
墓如ク洒掃スルカ
底シテシラルハ何カ
ナレハ毛利カ 未氣
大名カ有ルニナリ
○家世 一傳元就カ
利氏カ毛利カ家ニシテ
利氏カト命カシテ如
天生長シヤク
○英雄 一伝元就カ
初シヤク云ナリ

○八日至郷之詩 一云
格別 詩ニナリト太
仙曰

令百怪惶惑避義戈。請詔復仇真偉舉。黄金撐斗擎日車。
乃祖酷肖荀文若。此公卻類孫討逆。大兒如虎小兒龍。亦
如江東權與策。休比輿攬入洛陽。頗似納籍歸汴梁。錢氏
福與趙家長。公才什倍武肅王。洒掃不廢裔胄在。恨無碑
文託雪堂。來拜者誰外臣襄。家世生長公舊疆。少脩私史
諸公事。今日墳前始辦香。土非行沃民力薄。經營四外餘
裕綽。勤儉富國無磽墘。鼓舞強兵無羸弱。玉帶名馬好不
存。一生唯有用士樂。嗟哉真英雄。主不可作。

十八日至鄉明日先考忌辰志感

懷鄉來遠道。展墓及斯辰。不寐埃明發。具慶思昔春。行筐

行

新男婦山陽... 物ヲツサドッテ...

憐魚

燈一尺ハサテ太閤カコ...

運家

山陽ノ新ト坂井トニ代...

舊業

山ノ坂井ノ舊業ニ曰業...

及子

及子ノ名付テハ...

善行ノ開ハ今度母ト氏...

帆終日不離梳

一蓬掠過白鷗煙臥閱青山總可憐

窻推醒阿娘眠

閒傍施樓傾濁醪舟人分座且酖醕

撥鮮鱗不受刀

嵐山

奉母嵐山第四回板輿未到已花開

取殘紅待我來

栗田戲作似送行諸子

把酒旗亭別送人禽聲草色太平春

博事... 出持...

舟人... 船...

可憐ハ山ノ西橋有テ...

子

酒

夕

一

齋茗酒薄奠助繁蘋喜見新男婦尸饗秩祭儀

或獲方廣寺瓦用為燈籠索詩

髣髴桐花記阿藤參差翠縫想觚稜憐無功德庇孫子一

片殘鱗籠夜燈

與坂井生小飲

萱堂省病一旬多芸閣論文半日過菜甲梅花春幾許酒

光燈影夜如何通家兩世寧疎闊舊業三餘要切磋及子

衿青當努力看吾鬢髮忽皤皤

侍母東上舟中作

吾行準擬及花開備得輕舟破浪來欲罵春風太慵懶布

或獲方廣寺瓦用為燈籠索詩
髣髴桐花記阿藤參差翠縫想觚稜憐無功德庇孫子一
片殘鱗籠夜燈
與坂井生小飲
萱堂省病一旬多芸閣論文半日過菜甲梅花春幾許酒
光燈影夜如何通家兩世寧疎闊舊業三餘要切磋及子
衿青當努力看吾鬢髮忽皤皤
侍母東上舟中作
吾行準擬及花開備得輕舟破浪來欲罵春風太慵懶布

○吾行一南一北今度母氏京都へ从テ嵐山を遊ハカリニ及ビタイモシヤ
ルカヨイト太仙曰
○可憐ハ嵐山西極有テカニハ
ヲモシロイハツミル

帆終日不離梳

一蓬掠過白鷗煙臥閱青山總可憐聞得舟人呼飯熟船

窓推醒阿娘眠

閒傍柂樓傾濁醪舟人分座且酩酊遙呼漁叟買紅鬣活

撥鮮鱗不受刀

嵐山

奉母嵐山第四回板輿未到已花開春風畢竟舊相識雷

取殘紅待我來

栗田戲作似送行諸子

把酒旗亭別送人禽聲草色太平春攜妻挈子同從母非

○推事一遊民ハ云コ
シテ嵐山中ツレムツ
出掛トト何カケテヲモ
人ミタ格ナカウテハナ
マツクテ天太平
廿六夜長シヤヨ
○嵐山詩ヨハ
マテハマナルト太ニ詩
句ハ又分トクシル
○舟人ハ
ヒトツ舟ハハフレモ
分テ中ドフニ坐テ
分テ座モ分テ
才ハ酩酊ハトス
ホケクハスル
○可憐ハ嵐山西極有テカニハ
ヲモシロイハツミル

是流民是逸民

鈴鹿關

泥帶殘紅兩點斑。全家聯轎度春山。追思十六年前事。衝雪獨過鈴鹿關。

路上

東過鈴鹿路平平。旅服方逢連日晴。滿地春風行不盡。菜花黃雜紫雲英。

河碕舟赴雙鑑浦

春帆不嫌緩。舍轎就江灣。暖靄三河郡。斜陽兩勢山。此行從阿母。何處不鄉關。到岸投村店。鮮魚配醉顏。

鈴鹿關之詩
モ随多ヨキ
ハメトクシレシ

路上之詩
ヨヤスミレシ
モ随多ヨキ

舍轎
ヤソテ河碕カラ舟ニ
ツテフシムウラニ
暖靄
三河郡
伊賀伊勢

手鈴川
コレハ伊勢秋ノ合ニ

此水

源ハコノ川ノ多ハ古カラ今ニ至ルマテ流ルカハ有テコノ多ハアサイカ
フカイガ居テ分ルモノハナイトテ三夫ノ伊勢郡ノハナトモイフ云

英雄

雄ヲ遠クヤササテ今上皇高ニ至ルモノ伊勢大神宮ノ至キユヘソクニ毎
大陽ノ日柳ノ蔭テカナルヲカシテ天子ニ成ル中ニ六千ハセ又云テ
大陽ハ伊勢大神宮ニ

三月

千日ノ中今日一日ノ所ノ未テハ今日ノ日ニテドコニホトミルト云コトナリ

息外

目タキスルニ日轎カ外ルヨテ中ニハグツイテマッスミニテラレシ格ナリ
ソノ成程コレハ日轎カ早ク外ルニトクニ成テ先テ白影ニナルヨリ又信シタ
ノナイ

傳

モト傳ハ美義和云ヤツハ云ニ日轎ヲツテ凡クモノユヘカレ美義和云
モト傳ハ美義和云ヤツハ云ニ日轎ヲツテ凡クモノユヘカレ美義和云

大仙曰伊勢大神宮ノ祠ノ此知カ山上ナレハ何カ子ウノトシテ凡ク知イ
ヒテ平地ニコラトシテ凡ク格ニヨハ家ニテカソレヲホニイヒテチ
ノ平也

是流民是逸民、

鈴鹿關

泥帶殘紅兩點斑。全家聯轎度春山。追思十六年前事。衝雪獨過鈴鹿關。

路上

東過鈴鹿路平平。旅服方逢連日晴。滿地春風行不盡。菜花黃雜紫雲英。

河碕舟赴雙鑑浦

春帆不嫌緩。舍轎就江灣。暖靄三河郡。斜陽兩勢山。此行從阿母。何處不鄉關。到岸投村店。鮮魚配醉顏。

鈴鹿關之詩、
毛隨多ヨキ古ナク
ハナクトクニレシ

路上之詩、
ヨイヤスシレシ
草花シマクハ

舍轎、
ヤンテ河碕カラ舟ニ
ツテフクムウラ、
暖靄、
タミガウラカス見ニ
三河郡、
カスミガタニヒク
伊賀伊勢、
山ハエウヒガ

此行、
関、
在如テナイ、
ハナイト、
サヤ

此水

深一長ハヨクハ、
フカイ、
カ、
今ニ至ルマテ流ルカ、
有テコ、
アサイカ

英雄

臨マテ今上皇帝ニ至ル、
雄ナ、
大陽、
大陽ハ、
伊賀大神宮

三月

一日、
千日、
中、
今日、
一日、
コ、
所、
未、
テ、
シ、
ン、
テ、
日、
ニ、
ル、
ト、
ヨ、
ホ、
シ、
ト、
ミ、
ル、
ト、
云、
コ、
ト、
ナ、
ク

息

息、
外、
目、
タ、
キ、
ス、
ル、
日、
輪、
ハ、
日、
輪、
カ、
早、
ク、
升、
ル、
ト、
云、
バ、
方、
ニ、
先、
テ、
白、
影、
ニ、
テ、
ル、
日、
子、
又、
信、
ジ、
タ、
リ

傳

傳、
語、
モ、
ト、
傳、
ヒ、
フ、
シ、
テ、
ヤ、
ツ、
テ、
ク、
レ、
バ、
ド、
フ、
モ、
ナ、
ラ、
ン、
云、
フ

是流民是逸民、

鈴鹿關

泥帶殘紅兩點斑。全家聯轎度春山。追思十六年前事。衝雪獨過鈴鹿關。

路上

東過鈴鹿路平平。旅服方逢連日晴。滿地春風行不盡。菜花黃雜紫雲英。

河碕舟赴雙鑑浦

春帆不嫌緩。舍轎就江灣。暖靄三河郡。斜陽兩勢山。此行從阿母。何處不鄉關。到岸投村店。鮮魚醃醉顏。

此行一関在如奈イのハナイト云フヤ

五十鈴川

平地生雲氣。參天疊木陰。萬年神在處。兆庶子來心。此水流今古。何人測淺深。姦雄欺裔胄。不遁大陽臨。

雙鑑浦觀出日歌

金鳥新浴大東洋。帶濕朱輪未吐芒。參山遠山猶宿霧。海濤漸作赤金光。三万六千中一日來。此始見全日出。瞬息飛升難正視。乃信催吾白鬢髮。今日春盡欲呼觥。傳語羲和且徐行。

還由伊賀路

幾宵投宿軟塵中。路轉山村見古風。迎客小庭新灑掃。當

鈴鹿關之詩一詩
毛隨多手拈ナク
ハメトクシル

路上之詩一詩
詩カラミハドホド
コヤスミレシ
草花ヒヤク子花

舍轎
ヤンテ河碕カラ舟ニ
ツテフクミウラコイ
暖靄調一山ハバ
タミガウカス見ミ
三河郡一カアタ
カスミガタナヒク
伊賀伊賀一カハ
山ハエウヒカカ

手鈴川
コレハ伊勢郡
キヨメ川ナコ
マ子天キス
万子
イテ人知
シラシ百姓
舞ハク天
子ニコトク
クニギタル

帶濕
目カタ
見テテ居
ハカズニ
多山
山ヤ
ユラ
ル
ト

太仙曰伊勢大神宮
ヒ子カ平地
シキ
何カ
イ
カ
ハ
エ
シ
ケ
ツ
テ
ル
知
ク
云
フ
ヤ

皆一封映山工。

伊

高穎 一曰全體高穎曰人階、家系、太ナク氏、隋、煬帝、ナク々々、
丁度、ナク、
又使、川、ナク、
趙善本 一曰趙善本、
相時 一曰相時、

趙善本 一曰趙善本、
相時 一曰相時、

効謀 一曰効謀、
體、
殺、

殺、
體、
効謀、

殺、
體、
効謀、

享富 一曰享富、
一曰享富、

至計久公獎、變通要

巨雷 一曰巨雷、

堅者為櫓 一曰堅者為櫓、

點賊 一曰點賊、

普天 一曰普天、

獨賴 一曰獨賴、

獨賴 一曰獨賴、

獨賴 一曰獨賴、

伏 水 洋 穎 鎮 享

高穎 一曰全體高穎曰人ハ階ハ家来テナク氏階ハ煬帝ヲククケタリニテ
丁度ヲ執リテ藤堂モ徳川ハ臣下ニナシ大岡ハ臣下ニモナク付テ見合テ
又徳川ヲククケタリ

趙善本 一曰趙善本ハト周ハ世宗ハ家来テモ時ヲミテ趙匡胤ヲクク
ケテ天下ヲラシメタリ

相時 一曰ハサテソノ趙善本モ藤堂ニモ時ヲミテ新主ヲククケタリヤツテキタ
人ナリ

効謀 一曰ハ家来ガハカリテテハハククライタハ誠ニ臣ニヒトシテ
トクビシ土地ハ五宗門ケ徳川ナケナラ子ハモラシ知カ右老ハ色ニ
体ヲククケルニモナク土地ヲ世襲シクモナリ

殺前 一曰ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク
シテ大右ガ年ハ江戸サンキコフタイシテ改胎シテ格ニシテ定カ
ケサシタリ

巨雷 一曰ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク
山ニアルヤ

聖者為櫓 一曰ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク
高城ハゴトキ山ヲ作テ

點賊 一曰ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク
北條ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク

普天 一曰ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク
天子ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク

獨頼 一曰ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク
心ヲシ

良弼 一曰ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク
白成ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク

帝 一曰ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク藤堂ハ徳川ハ家来ガ如ク
心ヲシ

弱

均レハ諸大名が年々江戶にサキコトスル格ニシテ未クヨウシテヨカモ
隨分ヨイケレ氏名併シレガ後ニ成テキテサキコトスル入南ガセ取ルカ
大右レノ方カラ公儀ニ寄ル格ニハト候ニ公儀ノ本ヲイタル格ニハ下ノ階階ヤ
宗ガ後ニ後継ニモヒラカサレト同シヨリヤトテコヨリ後ガ終句ニ
云レ轉傍ニシテモナク

聖

仁ハ至テヨキガクテモ之クスレハ必クヤブレテクルヨテソテツ今
子ニ變テテ大名ノサキニフタイヌ太丁忠ニ目位ニルテヤルト誠ニ公
義ノ成報ハ次第ニ成ルテキテ大名ノ公義ハ心ガ深イ云テス
ク傳レテル格ニナルヨテ何卒モ格ニツシテカシク思ヒモイシ
テハナイ

九原

陳九原地ノ下ノ三ノ天若一藤堂ガ九原カラヲコレルナレバ
レガ右ノ道ノ心ヲモフコトガ人ニ向テテニクモ

君在

日ハサテ楠ガ後醍醐ニ向テスハアササマヲイテス私死ニハ
シマセ又私サレテ北條ノ賊ヲ滅シテマウハイツハ名ヲテ合
申レテ誠ニ忠義ナリ云々

唯願

ハ楠ガ由レテハ陵下ノ油断サカ始ラテ終リマテヒト
心ニ居テサレトマシアケル

笠山

サテ笠置山カラ南ノ公ニサカ野山ニ付テ後醍醐モ直楠
也薩天中興ヲシテコト油断ササテ又足利公ニ芳野山
再名メテサレテマソテ京都ノハ得カレニ野山明シテシワシク
將ハ天子ニケルヲテ將トスルニ句ガ期基ノ句ヤ

君王

惜レハ後タイゴモコノ笠置山ニ送ルテシタノヲ忘テ油断
サシテ又足利ニホフテ芳野ノカシテタイハ山ヲ作ルエ九句ホト
高クツ上テマアヒトビクシ土ヲツミ上レト成就スル名ニツシアケズ
ラカシメ格大モノテマコトニ惜イコトヤトシタ

吾來
嗟哉士凡
寛永
一國峻抗帶嶮峻高穎
膏腴負海郡形勝要路津支封擅一國峻抗帶嶮峻高穎
非隋士趙普本周人相時助新主効謀等舊臣殺削藩鎮
力能使桀驚馴陰贊太平業流澤被生民有功當食報享

膏腴
形勝
非隋士
力能使

膏腴
形勝
非隋士
力能使

富豈無因弱末終傷本
隋宋勢或均至計久必弊
變通要
歸仁九原如可作此意向君陳

藤公
民為我
如云ハサテ楠
指シテ云ニ具那
至テモソノ村
芳壁山再狩之駕不復還
君王唯忘在此院九仞一簣真
可惜吾來慷慨憶當時
時認石顛鑿礎基藤公傳勅楠公

可
惜
吾
來
慷
慨
憶
當
時
時
認
石
顛
鑿
礎
基
藤
公
傳
勅
楠
公

詩

伊賀 痕 臣ハ伊賀ノ上野臣城下ニ渡邊ヨキト人カ何井ス
 居テ血痕ガアルヤウ云云

仇人 魂 臣ヨリ河井又中ノ馬ニ守テ身ヲスルコトク大勢トモ
 イヌシテテクテ後多ク刀ヲ振テ一呼シテ又中ノ魂ヲウヂイリシ

水 存 臣ハ上野ニルニ河井又中ノ馬ニ守テ身ヲスルコトク大勢トモ
 海皇ノ女カトマツクヤドヤカ今至ルマテ存シテタル云云

膏腴 勳 臣ヨリ河井又中ノ馬ニ守テ身ヲスルコトク大勢トモ
 非隋士。趙普本周人。相時助新主。効謀等舊臣。殺削藩鎮
 力。能使桀驁馴。陰贊太平業。流澤被生民。有功當食報。享

有功 臣ハ後卷ハ功ヲカ
 有之ヨテキ 報ニガアル云云

享膏 臣ハ今ノ時ニテハウクルハニ回録
 臣ヨリ河井又中ノ馬ニ守テ身ヲスルコトク大勢トモ

富豈無因。弱末終傷本。隋宋勢或均。至計久必弊。變通要
 歸仁。九原如可作。此意向君陳。

○笠置山觀 元弘行在所作歌

巨靈手拔地骨起。怪岳萬尺爭層累。豎者為櫓橫為墻。天
 作高城淹天子。元弘之元秋八月。龍旂憑險事倉卒。黠
 賊蟻附緣閒道。一敗蒙塵更播越。普天何人非王臣。誰赴
 急難來竭蹶。猶賴祖宗在天誘帝心。夢賚異材是良弼。君
 在臣敢死。臣在賊滅可指日。唯願君心終始一。笠山南望
 芬塋山。再狩之駕不復還。君王唯忘在此院。九仞一簣真
 可惜。吾來慷慨憶當時。時認石顛鑿礎基。藤公傳勅楠公

笠置山ニ詩マフトシ
 元弘元年秋八月
 彼賊蟻附如笠置
 元弘元年八月
 龍旂憑險事倉卒
 元弘元年八月
 龍旂憑險事倉卒
 元弘元年八月
 龍旂憑險事倉卒

春令一... 故... 竟... 存... 幸... 井... 失...
春令一... 故... 竟... 存... 幸... 井... 失...
春令一... 故... 竟... 存... 幸... 井... 失...

兩伊道中之詩... 膏腴... 非隋士... 力能使...
兩伊道中之詩... 膏腴... 非隋士... 力能使...
兩伊道中之詩... 膏腴... 非隋士... 力能使...

笠置山... 元弘元年... 彼... 元弘... 元弘...
笠置山... 元弘元年... 彼... 元弘... 元弘...
笠置山... 元弘元年... 彼... 元弘... 元弘...

階一樹映山紅

上野黑門是寬永中渡邊氏復仇處

伊賀城頭西閣門復讎有跡恍血痕仇人騎馬魚貫過挺
刀一呼褫渠魂妍夫慷慨廉從義脊令原寒同雪寬一水
西渡是嶠原當時投宿館猶存吾來挑燈思往昔想見淬
刃候曉暾嗟哉士風猶使薄夫敦寬永之俗今誰論

兩伊道中書感

膏腴負海郡形勝要路津支封擅一國嶮抗帶嶙峒高穎
非隋士趙普本周人相時助新主効謀等舊臣殺削藩鎮
力能使桀驚馴陰贊太平業流澤被生民有功當食報享

富豈無因弱末終傷本隋宋勢或均至計久必弊變通要
歸仁九原如可作此意向君陳

笠置山觀 元弘行在所作歌

巨靈手拔地骨起怪岳萬尺爭層累豎者為櫓橫為墻天
作高城淹天子元弘之元秋八月龍旂憑險事倉卒黠
賊蟻附緣閒道一敗蒙塵更播越普天何人非王臣誰赴
急難來竭蹶猶賴祖宗在天誘帝心夢賚異材是良弼君
在臣敢死臣在賊滅可指日唯願君心終始一笠山南望
芬塋山再狩之駕不復還君玉唯忘在此院九仞一簣真
可惜吾來慷慨憶當時時認石巔鑿礎基藤公傳勅楠公

山陽先生遺稿卷四

詩

有功... 有... 報...
有功... 有... 報...
有功... 有... 報...

鳴呼 夫 草山陽
カ右ハシラヤイ天呼
シクワレハ心何モシ
ラニ氏テサエエライ本業
フウキマテタルヨク
可インカト人夫夫ヨク
トハフヨクヤカシタモ
弟トオモフ

疏。此處是耶未可知。居民爲我指村墟。爲賊鄉導實由渠。至今猶不通婚嫁。童孺唾罵斥如奴。嗚呼蚩氓猶能辨大義。寄語人閒士大夫。

至家乃雨

十日閒遊盡朗晴。薄陰昨作好舟行。一尊今夜軟吾脚。穩臥南窗聽雨聲。

下江同小竹主人及諸子訪半江居士居士新獲明人書七言絕句在壁依其韻同賦是夕雨居士留我宿焉

雨澆蒼樹綠扶疎。點滴聲中酒味餘。醉欲眠時人盡去。真

成高枕即吾廬。

遊泉州與小竹半江二子偕

央或青老麥父黃。滿路薰風衣袂揚。攜得佳朋行且語。天

丑列

丑列 柱撐 湖水 水が西南に流る若一大水モナルト湖水邊ノ
三六中ノツミガクワイイテハゴヨミ 雖イ辰ノ一ニシテマタ厚ヨク 湖中ニ山
壑カ有テ護テテ五ニサニテヲルヨテマツ山ノ山麓ニ丑列ノおもイラスニナル

輪寫

輪寫 湖カカシキ出ルハセイノハナシ鹿跳間ノ方ノ傍ニ
ノ丁度カ酒カ壺ノカラドスイトル 樽カ安配ヤ

大船

大船 辰ハ波川天大ナル舟トナルカ羽モヨイガレイ辰ノナリト
偉此 辰ハ誠ニエライトヤ 湖水ハ天ノ造物者ガタクニニヤツタヨテ古
カラスニ至ルニ天便更テヲセモノヲヤスシル辰ト

其口下則鹿跳

船カ毛輕誰信尋其口表女一清才佳止造物巧高下安

鳴呼 天竺山陽
カ右ハ分シテ
シテイワレハ
ラン氏天サ
フウキマ
トハフヨ
弟トオモフ

跪。此處是耶未可知。居民爲我指村墟。爲賊鄉導實由渠。至今猶不通婚嫁。童孺唾罵斥如奴。嗚呼蚩氓猶能辨大義。寄語人閒士大夫。

至家乃雨

十日閒遊盡朗晴。薄陰昨作好舟行。一尊今夜軟吾脚。穩臥南窓聽雨聲。

下江同小竹主人及諸子訪半江居士居士新獲明人書七言絕句在壁依其韻同賦是夕雨居士留我宿焉

雨澆簷樹綠扶疎。點滴聲中酒味餘。醉欲眠時人盡去。真

成高枕即吾廬。

遊泉州與小竹半江二子偕

丑列 拄撐 湖水 水が西南に流る若一大水モナルト湖水邊ノ

丑列 湖中ノツミガライツイテハゴロニ幾イハツテマタ厚ヨク湖中ニ山

輪寫 湖邊ノ酒が壺ノカラダスクトテル 樽方安配ジヤ

大船 舟ハ波川ハ大ナル舟トナルハ羽モヨイガレハ云クナリ

偉此 誠ニエライト云 湖水ハ天ノ造物者ガタクニヤツタニヨテ古

カラスニ至ルニ天便更テヲゼモノヲヤスシル云

鳴呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼
嗚呼 嗚呼 嗚呼

此處是耶未可知。居民爲我指村墟。爲賊鄉導實由渠。至今猶不通婚嫁。童孺唾罵斥如奴。嗚呼蚩氓猶能辨大義。寄語人閒士大夫。

至家乃雨

十日閒遊盡朗晴。薄陰昨作好舟行。一尊今夜軟吾脚。穩臥南窗聽雨聲。

下江同小竹主人及諸子訪半江居士居士新獲明人書七言絕句在壁依其韻同賦是夕雨居士留我宿焉

雨澆蒼樹綠扶疎。點滴聲中酒味餘。醉欲眠時人盡去。真

成高枕即吾廬。

遊泉州與小竹半江二子偕

秧鉞青老麥芒黃。滿路薰風衣袂揚。攜得佳朋行且語。天鵝聲裏日方長。

○鹿跳澗是湖水瀉出爲溪之處以鹿跳可渡名焉已丑五月侍輿往觀紀以詩

太湖三萬頃。其水西南傾。五州怕魚鼈。難拒勢建瓴。護之以山壑。厓岸互拄撐。輸寫漸弗猝。譬如酒出罌。有餘乃溢。出。湖面無縮贏。脈脈過菟道。混混赴茆渚。長橋虹霓跨。大。扁羽毛輕。誰信尋其口。裁如一溝橫。偉此造物巧。萬古安

湖面無 縮贏 脈脈 混混 赴茆渚 長橋 虹霓 跨 扁羽 毛輕 誰信 尋其口 裁如一溝橫 偉此造物巧 萬古安

近関 行ハ其ハ近ハ口ハヤシシ 策ヲ献シテカハルヲ策ハ其ハ成ニ

湖船 舟ヲ使ハシテ通ルモモトヲカヨシク又湖水ヲ使ハシテ色ヲモク

出哉 西ニサテ山陽右ノ策ヲ献シテモカハ付テイワレルハ世大聊カ

智工テカクツテソノ天ノ造物者ニタカウト欲ルカソナクハイク

木料 至ニヨクニ 大坂ノ人ハヤク

倒屣相迎笑 輾然呼杯欲待夕陽天 借君冰簟借君枕 向我溪亭姑一眠

題雪堂畫

題雪堂畫 雪堂 詩ニハ 隨分外ノ 云モ子ハハルト太仙

柳絲雨脚共斜斜 一傘枝撐風力拏 太似鴨兒川畔路 衝

尾乍日方昏

此 謝安人 東山ノ隱居シテ居ルナカレウツクキケイコトヲツ

自疑 蒼生ノ為ニルイナシト云テ蒼生ニカウル若ハナイガサトト 自疑ツテニサツセル

所賜感作

曾將今日省嚴親 爲寫黃花醉墨新 侍母畫前強作醉 此

中秋赴岩崎氏招飲得照字

中秋赴岩崎氏招飲得照字 詩ニ詠ニ 齊物天中ニ

詩 十

近関 行ハ其ハ近ハ口ハヤシシハ策ヲ献シテカアルヲ策ハ其ハ
 鹿跳適ハ如クモト廣クホイ用テラテ舟ハ便里ヲヨラズルモリ
 湖船 舟ハ其ハ通シルモモトヲカヨシラシ又湖水ハ其ハ色ニモ
 ハコニモ便利ハ路ハ其ハ通シルモ
 出哉 西ニサテ山陽右ハ策ヲ献シテカアルヲ策ハ其ハ
 智エテカクツテソソク天ハ造物者ニタカウト欲スルカソナク
 モカク天ハ何シテ果シイカシク一智ハ其ハ通シルモ
 ナサキハ其ハ通シルモ

倒屣相迎笑輾然呼杯欲待夕陽天借君冰簟借君枕
 我溪亭姑一眠
 水簟一眠ハ其ハ通シルモ
 溪亭一眠ハ其ハ通シルモ
 向夕陽ニルモ其ハ通シルモ
 一眠ハ其ハ通シルモ
 一眠ハ其ハ通シルモ

題雪堂畫

題雪堂畫ハ其ハ通シルモ
 詩ハ其ハ通シルモ
 一眠ハ其ハ通シルモ

柳絲雨脚共斜斜一傘枝撐風力擎太似鴨兒川畔路衝

一傘枝撐ハ其ハ通シルモ
 雨脚ハ其ハ通シルモ
 風力ハ其ハ通シルモ
 太似鴨兒ハ其ハ通シルモ
 川畔路衝ハ其ハ通シルモ

自疑 蒼生ハ其ハ通シルモ
 疑ハ其ハ通シルモ
 蒼生ハ其ハ通シルモ
 疑ハ其ハ通シルモ
 蒼生ハ其ハ通シルモ
 疑ハ其ハ通シルモ

曾將今日省嚴親爲寫黃花醉墨新
 侍母畫前強作醉此
 身非復具慶人
 中秋赴岩崎氏招飲得照字

中秋赴岩崎氏招飲得照字
 詩ハ其ハ通シルモ
 一眠ハ其ハ通シルモ

不須——長日野柳山陽知西出樹付村卷ヲツ南の言一寸モシ
小隊——長日野公漸久侍人仲間人クライ、供道へ天山陽ノ字
劍佩——長日野公劍ヲテテ終ト、香ニニラセテ西出ニ成ク、

倒屣相迎笑輒然呼杯欲待夕陽天借君冰簟借天向
我溪亭姑一眠
題雪堂畫

題雪堂畫
詩之、隨分外、
云モ子ハハルト太仙、

柳絲雨脚共斜斜一傘枝撐風力擎太似鴨兒川畔路衝

一傘枝撐——前雨、名ヲカラヤサ、サイト、又、雨ヲ
君家雪堂、
チノヲ、

誰名一聲——長謝安之姓、謝玄謝籍、肥水、知天符、
合戰ヲシテ天ニブルスライ、太鼓ヲ叩テ大イ騷、動テモ、謝安、
マテフルスライ、太鼓ヲ叩テモ、イコノ、
レモ、シテ、セマ、長、
ノ又、安、

所賜感作
曾將今日省嚴親為寫黃花醉墨新侍母畫前強作醉此
身非復具慶人
中秋赴岩崎氏招飲得照字

陽、日ヲモツテ、在、
親、
中、秋、赴、岩、崎、氏、招、飲、得、照、字、

山陽先生遺稿卷四
十月一日。伏見。是月。月。子。明。台。可。通。每。軍。曹。捷。路。戎。

門度
一展方方、ウチノ門度、至天セマクテ、車ヲナド、ヲイレル、知ガキ
ユ、日野、公、方カス、レ、キ、ド、ツ、供、不、ク、ナ、ニ、テ、出、ク、サ、レ、タ、ノ、ヲ、云、ナ、ク

園中
一コレ、古、車、ガ、有、テ、カ、シ、陶、侃、ノ、知、或、ラ、レ、キ、ハ、人、カ、テ、シ、タ、コ、ト、ガ、陶
侃、ノ、家、ニ、至、テ、會、フ、之、ニ、天、酒、ヲ、求、ル、錢、ヲ、イ、ク、ク、共、ニ、私、陶、侃、ノ、母、ガ、自
分、ノ、勤、勞、ヲ、茶、ヲ、テ、シ、テ、カ、モ、シ、ヤ、ト、言、フ、テ、シ、テ、錢、ヲ、得、テ、酒、ヲ、買、テ、テ、シ、キ、ノ、人、ハ
振、舞、フ、多、ク、ガ、ア、ル、ガ、付、テ、ハ、コ、ノ、方、モ、困、窮、ス、ル、ハ、困、窮、ス、ル、氏、今、母、ノ、身、ヲ、
柀、ナ、ル、ノ、ハ、セ、シ、テ、モ、ヨ、イ、ト、云、フ

我溪亭姑一眠

題雪堂畫

水簾一眠、ハ、ソ、テ、先、公、ニ、水、簾、ヤ、枕、ヲ、カ、ス、テ、ヲ、レ、知、
溪、亭、ニ、向、テ、夕、陽、ニ、ル、比、テ、テ、ダ、ダ、レ、ヤ、ス、ニ、一、眠、ヤ、ラ、ツ、セ、云、ク、

題雪堂畫
詩、ハ、隨、分、外、ノ、
テ、モ、子、ハ、ハ、ル、ト、太、仙、ヲ、

一傘、枝、撐、
以、テ、人、カ、ル、云、
君、家、ニ、雪、堂、
チ、ノ、ヲ、云、ク、

柳絲雨脚共斜斜、一傘枝撐風力拏、太似鴨兒川畔路、衝
泥昨日訪君家

題謝安東山攜妓圖

紫翠鉛華兩愜情、自疑起臥繫蒼生、誰知淝水震天鼓、猶
似嬌絃脆竹聲

重陽侍母飲壁上挂先君畫菊十六年前此日在家

所賜感作

曾將今日省嚴親、為寫黃花醉墨新、侍母畫前強作醉、此
身非復具慶人

中秋赴岩崎氏招飲得照字

曾將一親、
去、年、初、
陽、日、
親、
ハ、イ、ト、太、仙、

中秋赴岩崎氏招飲得照字

群氓近聞有獻策。決開利舟行。湖船可通海。運漕捷路成。

竹裏
年當持斧...
朝退
マフスジャ...

木鷄至

倒屣相迎笑輾然。呼杯欲待夕陽天。借君冰簟借君枕。向我溪亭姑一眠。

題雪堂畫

柳絲雨脚共斜斜。一傘枝撐風力拏。太似鴨兒川畔路。衝泥昨日訪君家。

題謝安東山攜妓圖

紫翠鉛華兩愜情。自疑起臥繫蒼生。誰知淝水震天鼓。猶似嬌絃脆竹聲。

重陽侍母飲壁上挂先君畫菊十六年前此日在家所賜感作

曾將今日省嚴親。為寫黃花醉墨新。侍母畫前強作醉。此身非復具慶人。

中秋赴岩碕氏招飲得照字

木鷄至... 題雪堂畫... 謝安東山攜妓圖... 曾將... 親... 日... 見... 舞... 詩... 中... 秋... 赴... 岩... 碕... 氏... 招... 飲... 得... 照... 字...

詩 十

佳期——少——
ドフモマレテ居リ

迎香——
「此は岩碕氏がゴノ方ニ是非氏月ヲ見ニキテ此ト云ク

瀨橋——
「表遠山サテ岩碕氏ニテシ坐交ニ檻子ニモクテ六湖ノ波ヲミレハ
マタ時モ早クテ斜陽ガ多ク山ノカヤイテミルノヌ云ナリ

要看——
「漂ハゴレカス一ツ月ニルイノヲシヤフト思テ岩碕氏ノウカス
桂舟ニツテ湖上ニ立テテガケタノヌ云ナリ

併月酌相酬——
「舟中ニ坐シテ山陽ト岩碕ト立ニおヌ侍テムトヲ云ナリ

天水——
「云ハ天ト水トヒツイテアル様ニ誠ニ風モナシモ氣ノヨイトシ

紅塵——
「料ニ京郊ノ紅塵中ニ住シテマツモ、似辛ツ觀月ハシタイ
モ公事ト思テノ様興ニ棄シテ遊ヒタイ云トハ為テ遂ニハカウテ居クガ今
初トトクダ

天僧——
「カ智ハ云ハ天ハ五山ガ天心ヲウカツテ高イトヨヲシムシ月ハマク天ノ
民ハ月ノ心ハイテ、ヨルノヲニクシテ、ヨル云トシ

風怒——
「押ハ風ハガサケラレルト怒ルシ、云ハ、ワラワレト怒ル花

「本蟲莫ハハヒテテウサイボフニ、シラレルヲイカル云トテ、コトテ、心テキタ知ハ天
民ハ五山ガ天ヤ月ヤ同ヤ云、花本虫莫ニ、ハ、ハ、詩ニ作テ居ツテハ、
後ニタシトイウニハカクシヤ

柳木東——
「云ハ柳木東東ハ板木ノ、ニテ天民ノ詩ノ板ガ半ハヤケテ灰ガ心

暑痛——
「クニ一板ニナツタノヲ云ナリ
「云ハ五山ガ心ハタシキ、ワサワイニカウツテマ必板ニケスニ又、詩橋ヲ
イクハト云ホド、クニテマツクコト云ナリ

半生——
「踏ハ天民ハ五山ガ半生モ色ニト奇語ヲニキクテ、初シテ
自ラ、初テ改板シテカスアソコガワルイ、コガワルイ、云テ、ツマズキヲフセイテ自
クニ、云シテ、ソノマタ板ニホイカタイスルト云

看月何處好。莫若湖上妙。住京十七秋。佳期遘每少。君家踞湖壩。迎吾恣臨眺。更許將吾母。欣然行侍轎。憑檻瞰淪

今秋——一后付テ今秋大風吹テ海ノ波亦モ怒號シテテタリ

秋水——糴付テ大風吹テ秋水モ倒ルハ倒テモマクテキテソフメ強カ

子ハ、系ノ相傳ハ、アル知マテモ、イカナク、ナリ

佳境——笑シ岳岩礫ノ一絲ニ舟ニ浮テ誠ニヨキヲモシロサテ、新歡ヲ

ウケテ、ニカ、ロ、用テ、ワ、ロ、シ、ナ、イ

京城迎母半年留。月白風清何處遊。待我板輿三十里。借君湖閣作中秋。

何圖——世系巨天氏ヤ山ヲ天邊ノガクク子ランテ、右テヲソテ天氏

君曹詩——摘巨天氏山邊ノ詩ハステニ、万人ニ傳テ、乃、人、イ、ラ、ワ、タ、ニ、

筆衣——却巨筆ニカイト、乃、ハ、ヤ、ケ、テ、モ、胸中ノ、乃、中、ニ、ヤ、ク、ナ、モ、

万思——巨ハ、沢、山、ニ、ツ、カ、サ、ク、ク、ノ、天、掃、イ、空、ニ、テ、モ、斯、甚、ニ、乃、ツ、ル、人、

裸卧——首巨天氏山、及、己、カラ、ツ、ハ、必、カ、成、テ、卧、テ、天、地、ニ、眠、テ、大、イ、

ビキヲカイテ、ソ、ク、ユ、ツ、ク、リ、ト、目ヲ、サ、ン、ヲ、キ、テ、ツ、ビ、キ、ヲ、ヒ、イ、タ、リ、モ、詩、ニ、セ、ル、梅、ニ、テ、子、
ハ、ア、カ、ン、区、ヲ、ニ、テ、ノ、来、リ、知、ラ、ズ、ク、人、達、今、也、ノ、梅、ナ、リ、乃、作、テ、居、テ、ハ、彼、ニ、タ、シ、
ニ、ゴ、テ、コ、レ、カ、ス、一、ツ、心、ヲ、改、テ、乃、見、テ、カ、テ、シ、マ、イ、ナ、サ、レ、巨、ニ、テ、咳、吐、ニ、テ、首、ハ、東、城、
ガ、三、千、層、ツ、バ、キ、ヲ、ハ、イ、テ、三、千、首、ソ、レ、ヲ、五、三、乃、ツ、ツ、ク、ク、ノ、ヲ、云、ク、モ、ナ、イ、

不解一棹
不辭一棹
不辭一棹
不辭一棹
不辭一棹
不辭一棹
不辭一棹
不辭一棹
不辭一棹
不辭一棹

看月何處好。莫若湖上妙。住京十七秋。佳期遘每少。君家踞湖壩。迎吾恣臨眺。更許將吾母。欣然行侍轎。憑檻瞰淪漪。斜陽在遠嶠。月出樓之側。湖面已橫照。要看冰輪全。更命桂舟漂。洗杯蹙金波。併月斟相釀。一輪行萬頃。天水澹不搖。紅塵窺玉兔。此興曾遙料。今秋屬大風。怒號發萬竅。秋禾偃還起。未至騰糴糶。人安我亦安。風月足吟嘯。佳境承新歡。誰不開口笑。不辭風露露。月傾未返棹。

絕句

京城迎母半年留。月白風清何處遊。待我板輿三十里。借君湖閣作中秋。

關天民五山遇災作詩

風露露衣眠未成。小欄干外月空明。湖魚亦識人猶醒。跳破金波夜有聲。

聞天民五山遇災作此歌弔慰

天愷五山穿天心。月疾天民出月脅。風怒其嘲雲怒晒。花木蟲魚嗔媒狎。協謀合圖遣祝融。雲師建旆封姨翼。天民同災玉池魚。黎棗半燒灰滿牖。最痛五山懼酷禍。未刻稿本空幾篋。半生咿嚶琢奇語。鉛槧數改防踣踣。何圖天翁久睥睨。龔焚積聚奪素業。君不見君曹詩已傳萬口。沁萬脾。何論六丁下搜括。筆底之詩猶可焚。胸中之詩不可劫。萬累掃空嗔身在。裸臥天地眠駘駘。徐起咳唾三千首。清

清新——峻ハ詩ハ清新天下度水山中カス先ルゴクニ氣麗ニ作ル格ニ如

啓如——七甲ハ西人蓬今マテノ旧法ヲカテハ解テタトテ云ハ曹操カ赤

問耕不必奴問織不必婢何以禦佛狸唯恃長江水
髀箭射君臍紗帽被君首作事須及熟莫落他人手
肉中終有血一死知所處寧將一家物推付一家去
得失皆自吾吾知亦分明何倩短脚漢蹋我金甌裂
長江雖天塹已付韓擒虎猶有景陽井個中亦樂土
惡人如惡馬蹄齧不足慮獨此賀六渾不受君駕馭

侍得——侍得ハ侍シテマコト
首——首ハ首シテマコト
紅楓——紅楓ハ楓ノ赤クシテマコト
東風——東風ハ東ノ風シテマコト

誰教鮮卑兒解遣紹宗來高王定未死悔擲大行臺
渭曲多萑葦誰爭黑獺居如何事潛匿不祭江河魚
生憎盲老公手能翳明月百升陷入地冤血刻不滅
關西有男子不為降將軍卻降騎虎者操戈剪宇文
獨孤豈誤我奈此天數何縱立見地伐未必異阿摩

送母西歸觀楓箕面坂上大塚二氏為導
紅楓相映醉慈顏侍得歸輿未直還今歲此游堪壓尾攜
來佳酒看佳山

送母路上短歌
東風迎母來北風送母還來時芳菲路忽為霜雪寒聞雞

今年一城一邑今年ハマク東海邊ニ方テ大分ノカアツテ江都ノ城下モヤク

元元一江都ガヤケテ御タカ江都ニマアツテ内家ガカシテナイヨコ

今秋一官職ニ付テ有年ノ秋サイワイニ米穀モヨクテ大勢ノ百姓

吾行一政ニ付テ有年ノ秋サイワイニ米穀モヨクテ大勢ノ百姓

酉宴一政ニ付テ有年ノ秋サイワイニ米穀モヨクテ大勢ノ百姓

汗和一政ニ付テ有年ノ秋サイワイニ米穀モヨクテ大勢ノ百姓

鄒揚一政ニ付テ有年ノ秋サイワイニ米穀モヨクテ大勢ノ百姓

竹原一政ニ付テ有年ノ秋サイワイニ米穀モヨクテ大勢ノ百姓

上隴一政ニ付テ有年ノ秋サイワイニ米穀モヨクテ大勢ノ百姓

後身一政ニ付テ有年ノ秋サイワイニ米穀モヨクテ大勢ノ百姓

シラシガ今マテハ情ハコトモノアル

知埋骨向何山

蕭然旅服始離船

來拜墳塋松柏間

飄蕩天涯已衰鬢

未

出墻廬橘尚依然

自別音容已五年

猶憶書樓雷老姪

笑

談連夜每遲眠

上隴

竹原

汗和

鄒揚

酉宴

先覺

十三

歡云云
體云云
此乃母下歡
福云云

即裏足侍與足槃跚不言兒足疲唯計母與安獻母一杯
兒亦飲初陽滿店霜已乾五十兒有七十母此福人閒得
應難南去北來人如織誰人如我兒母歡

書感

去年西海道風波駭鯨鯨更聞姦猾民外交輸國情今年

去年西海道風波駭鯨鯨更聞姦猾民外交輸國情今年
東海道火災半都城元老不整遺奈何此蒼生恐虞憶寶
永凶饑念天明今秋賴有稔三農喜餘贏吾行徑山陽
路方西成甌窶篲已滿汗邪車已盈歛揚糶沙礫晒曝乘
霽晴民心應蘇息物價止踊騰旻天眷祖澤運蹇復扶傾
腐儒饜粗糲莫可歌太平

先豐云云
且又物云云
天日云云
大饑饉云云
民心云云
○目云云
タスケ云云
傾云云
思云云
天云云
云云

竹原

出塘盧橘尚依然自別音容已五年猶憶書樓雷老姪笑
談連夜每遲眠

上隴

蕭然旅服始離船來拜墳塋松柏間飄蕩天涯已衰鬢未
知埋骨向何山

堯佐奉檄將東來別于尾路

衣綾初日換青衫槍號寒風拂綠沈話別江關年欲暮促
程函嶺雪方深後來官跡為何狀前路交情獨此心剪盡
夜燈論出處曉窗過雁亦哀音

題畫山水之詩
如
夕暉
夕暉
夕暉

題畫山水

良
信
如何
信
贊
贊
贊

張良受書圖

先據

先據
張良
老人

漕渠一脈路逶迤
攜手長堤步午暉
此水還如故人意
迎

吾來到送吾歸
舟中有作

舟中有作

回指
暉
暉
暉

回指
暉
暉
暉

回指親庭隔夕暉
關心家室卻京畿
蓬窻有夢常分背
不

似征帆一向飛

回頭

華港
十六
三

仰頭瞻曹山
回頭望兵庫
萬帆指華港
重城出烟樹
迎母
已此路送母亦此路
送罷獨東歸
吾心乃西悲
妻兒待我
朋要找獨奈慈顏乍離違
願母長生吾健在
迎送此路無
窮期

海陸小詩二十四首

綿衾薄如紙
夢覺曉燈青
知有先吾發
門前過馬鈴
芒鞋半欲穿
堠樹生暝色
微醉擘霜柑
寒風奪酒力

此送
期
期
期

如何 膝の信が楚王の如く 楚王の如く 楚王の如く
 信が楚王の如く 楚王の如く 楚王の如く
 楚王の如く 楚王の如く 楚王の如く

先據 一尺の張良が老人の如く 老人の如く 老人の如く
 老人の如く 老人の如く 老人の如く

漕渠一脈路逶迤攜手長堤步午暉此水還如故人意迎
 吾來到送吾歸

舟中有作

回指 暉は夕の暉 暉は夕の暉 暉は夕の暉
 暉は夕の暉 暉は夕の暉 暉は夕の暉

回指親庭隔夕暉關心家室卻京畿蓬窓有夢常分背不
 似征帆一向飛

回頭

仰頭瞻曹山回頭望兵庫萬帆指華港重城出烟樹迎母
 已此路送母亦此路送罷獨東歸吾心乃西悲妻兒待我
 朋要找獨奈慈顏乍離違願母長生吾健在迎送此路無
 窮期

海陸小詩二十四首

綿衾薄如紙夢覺曉燈青知有先吾發門前過馬鈴
 芒鞋半欲穿埃樹生暝色微醉擘霜柑寒風奪酒力

此送一期云云 此送一期云云 此送一期云云
 此送一期云云 此送一期云云 此送一期云云

蓬窓有夢常分背不 蓬窓有夢常分背不 蓬窓有夢常分背不
 蓬窓有夢常分背不 蓬窓有夢常分背不 蓬窓有夢常分背不

題畫山水之詩
唐詩云
題畫山水之詩
唐詩云

題畫山水
泉懸雲樹閒。幽寺在溪處。欲往山蹊遙。經聲雜水語。

韓信過胯圖
委蛇全初年。岸異蹶末路。如何噲等肩。不及屠兒胯。

張良受書圖
其意不在書。時機教先赴。先據函谷關。先塞成皋路。

舟赴玉嶋維而上。問泉藏信宿。見送賦謝
漕渠一脈路。逶迤攜手長堤步。午暉此水還如故。人意迎
吾來到送吾歸。

舟中有作

回指親庭隔夕暉。關心家室卻京畿。蓬窻有夢常分背。不
似征帆一向飛。

回指親庭隔夕暉。關心家室卻京畿。蓬窻有夢常分背。不
似征帆一向飛。

華港ハ六段
漕渠ハ六段
漕渠ハ六段

回頭
仰頭瞻曹山。回頭望兵庫。萬帆指華港。重城出烟樹。迎母
已此路。送母亦此路。送罷獨東歸。吾心乃西悲。妻兒待我
朋。要我獨奈慈顏乍離違。願母長生吾健在。迎送此路無
窮期。

回頭

此送一期云
此送一期云

海陸小詩二十四首

綿衾薄如紙。夢覺曉燈青。知有先吾發。門前過馬鈴。
芒鞋半欲穿。堠樹生暝色。微醉擘霜柑。寒風奪酒力。

謀臣 臣は時太閤トウケリテシタ臣下ハ三ノ名ガシレテタル

契合 臣ハキヤリ合タル名ハ魚ト水ト相大モ合ハズシテトニ

君臣 君臣合テテコトヲ知フ

連車 臣ハ今長崎奉ルカワリ目ニ知テ今マテ新ク奉行ガ異

傳 夫ハ臣トコニ宿テモ人足テ大勢トツテユク

山陽 地ハ今毛利ハ山陽ナリ通ル所ナクナリ

曾灌 是ハ昔太閤ガ高松城ヲ水セシサシタ件コト水ニセシ

名トスヤシラト心ニ思フテシル

舟郷 語ハ舟ニ乗ル事ヲドモホントニココナシ路カラキルト思ハル人ガ夜

右陸路

枕底聞波聲不知是何處歸鄉夢未續舟子夜相語
船尾動晨褰揭篷風撲面已過相原城城墻隱復見
有月挂高帆無風搖急櫓蓬窻聞犬聲應是來牛浦
幾緬征鞋破一帆歸艇速船窻指來路遙在連山北
烏檣笠子岡粉壁甕兒魯歸思雖如弦尋朋當一到
唯罵行舟遲不知去國遠應教鄉夢成篷雨孤眠穩
泊舟還不惡溫酒呼漁子棘鬣活欲飛京城寧有此
屋嶋平如屋粟峯雲髻鬟不待舟人指知是讚州山
後帆追未及前帆勢欲騰行至潮門處帆帆影疊層

義細 陸路五ノトナリ

舟子 舟ノ子

歸思 歸ルノ思

舟子 舟ノ子

舟子 舟ノ子

舟子 舟ノ子

舟子 舟ノ子

英雄 姫路 城 樓 高 英 雄 據 此 起 謀 臣 曾 記 名 契 合 如 魚 水
揚 子 起 城 樓 高 英 雄 據 此 起 謀 臣 曾 記 名 契 合 如 魚 水
揚 子 起 城 樓 高 英 雄 據 此 起 謀 臣 曾 記 名 契 合 如 魚 水
揚 子 起 城 樓 高 英 雄 據 此 起 謀 臣 曾 記 名 契 合 如 魚 水

一 嶺 界 封 疆 瓦 光 包 海 氣 宿 檣 森 似 林 京 信 有 來 未
宿 檣 森 似 林 京 信 有 來 未
宿 檣 森 似 林 京 信 有 來 未
宿 檣 森 似 林 京 信 有 來 未

幾 綱 征 鞋 破 一 帆 歸 艇 速 船 窻 指 來 路 遙 在 連 山 北
幾 綱 征 鞋 破 一 帆 歸 艇 速 船 窻 指 來 路 遙 在 連 山 北
幾 綱 征 鞋 破 一 帆 歸 艇 速 船 窻 指 來 路 遙 在 連 山 北
幾 綱 征 鞋 破 一 帆 歸 艇 速 船 窻 指 來 路 遙 在 連 山 北

山陽先生遺稿卷四

姫路城樓高英雄據此起謀臣曾記名契合如魚水
酒店養龜兔樵橋過去牛兩又閭首路右者走因州
纔過榛州盡黍州路又艱平郊望城樹認得是岡山
途長苦日短數與歸牛遭登登村樹盡太白向人高
土鼎茶方沸茆簷霜始乾病夫艱蓐食十里乃朝餐
山頭盡殘日山脚起爨煙行客怯長堠輿夫愁短錢
連車載蕙苾傳驛催丁夫舊尹東歸處坐輿皆僕奴
槍號白氍毹知渠毛利氏山陽過十州盡是祖宗地
行人喚渡航沙步連村市曾灌高松城心知此水是
一嶺界封疆瓦光包海氣宿檣森似林京信有來未

右陸路

枕底聞波聲不知是何處歸鄉夢未續舟子夜相語
船尾動晨褰揭篷風撲面已過相原城城墻隱復見
有月挂高帆無風搖急櫓篷窻聞犬聲應是來牛浦
幾綱征鞋破一帆歸艇速船窻指來路遙在連山北
烏檣笠子岡粉壁甕兒臬歸思雖如弦尋朋當一到
唯罵行舟遲不知去國遠應教鄉夢成篷雨孤眠穩
泊舟還不惡溫酒呼漁子棘鬣活欲飛京城寧有此
屋嶋平如屋粟峯雲髻鬟不待舟人指知是讚州山
後帆追未及前帆勢欲騰行至潮門處帆影疊層

舟 檣 一 語 云 鄉 里 夢 未 續 舟 子 夜 相 語
ホントニミコナシ、路カラキハト思ハル人カ夜

雪泥
雁馬溪
雁馬溪
雁馬溪
雁馬溪
雁馬溪
雁馬溪
雁馬溪
雁馬溪
雁馬溪

○詩思
○詩思
○詩思
○詩思
○詩思
○詩思
○詩思
○詩思
○詩思
○詩思

山色青糝糊。波紋紫破碎。殘陽光已收。猶在一帆背。
家遙斷雁邊。船守下碇處。鄰有筑前船。揚揚峭帆去。
卸得帆無恙。呼來杯有情。穿鞋猶帶醉。大地可橫行。
右舟路

為橋元吉重寫耶馬溪山水圖

沒跡紅塵十二年。雪泥鴻爪已茫然。心裡溪山青未了。為君展作半縑烟。

冬夜強裁至同賦

霜威收水語。夜色壓燈花。喜汝雙鞋道。尋吾獨樹家。詩思老益退。酒味寒方加。問字無多暇。何辭到曉鴉。

一雁
時節
雁
雁
雁
雁
雁
雁
雁
雁

雖得
今
長思
山陽
又視
伊
帷
風雲
遊

長思
山陽
又視
伊
帷
風雲
遊

又視
伊
帷
風雲
遊

風雲
遊

木國
鞞
又
持

木國
鞞
又
持

山色青糢糊。波紋紫破碎。殘陽光已收。猶在一帆背。
家遙斷雁邊。船守下碇處。鄰有筑前船。揚揚峭帆去。
卸得帆無恙。呼來杯有情。穿鞋猶帶醉。大地可橫行。
右舟路

為橋元吉重寫耶馬溪山水圖

沒跡紅塵十二年。雪泥鴻爪已茫然。心裡溪山青未了。為
君展作半縑烟。

冬夜強檄至同賦

霜威收水語。夜色壓燈花。喜汝雙鞋道。尋吾獨樹家。詩思
老益退。酒味寒方加。問字無多暇。何辭到曉鴉。

雪泥——（唐）西國
耶馬溪——（唐）西國
心裡溪——（唐）西國
耶馬溪——（唐）西國
カランノカタクニハ
ナルハ、溪山ノヨモヒ
イ知ハ心ニテモ、只レ
セヌルナリ
獨樹村——（唐）西國
自カレ、ヨレ知ニ、村ヲ
シテ、コトハツクニ、ソコ
ニ、カクシテ、天用全ノ
ヲ、カクシテ、天用全ノ

○詩思——（唐）西國
コレハ、山陽自カレ、ヨレ知ニ、思ハ、老益退シ、シテ、
實ニ、中ニ、ヨレ知ニ、シテ、カクシテ、天用全ノ

一雁——（唐）西國
時節モ、寒ク成テ、雁、南ニ、帰ルルハ
雁、トシテ、カクシテ、天用全ノ

雖得——（唐）西國
今マテ、チカツキ、人、熟中ニ、ラル左、達ト、遠テ、モ、フ、ア、ヒ、又、成、テ、シ、マ、フ

長思——（唐）西國
山陽ノ、熟中ニ、テ、シ、イ、レ、テ、モ、ラ、ツ、ク、フ、ヨ、ク

又視——（唐）西國
イ、氏、コ、ノ、方、モ、之、君、績、ヲ、平、生、膝、下、ニ、於、テ、ヤ、シ、ナ、ヒ、ソ、ク、テ、ア、ケ、タ、ム、ト、
幃、書、唯、シ、一、テ、ハ、書、物、ヲ、ヨ、ム、ソ、バ、テ、シ、イ、レ、タ、ク、フ、ヨ、ク

風雲——（唐）西國
此ハ、論語、中、浴乎沂、風乎舞雩、雨、（唐）西國
遊、ハ、イ、モ、又、知、ル、ハ、入、浴、ス、ク、ハ、下、モ、ヲ、カ、タ、君、績、ヲ、召、連、テ、アル、イ、タ、ク、
ヨ、ク、ナ、イ

木國目者——（唐）西國
鞞——（唐）西國
ガ、寒、氣、ヲ、イ、ロ、ウ、ズ、ニ、ハ、キ、モ、タ、ト、ヲ、持、テ、ツイ、テ、キ、テ、タ、レ、タ、ク

山色青糝糊。波紋紫破碎。殘陽光已收。猶在一帆背。
家遙斷雁邊。船守下碇處。鄰有筑前船。揚揚峭帆去。
卸得帆無恙。呼來杯有情。穿鞋猶帶醉。大地可橫行。
右舟路

為橋元吉重寫耶馬溪山水圖

沒跡紅塵十二年。雪泥鴻爪已茫然。心裡溪山青未了。為
君展作半縑烟。

冬夜強檄至同賦

霜威收水語。夜色壓燈花。喜汝雙鞋道。尋吾獨樹家。詩思
老益退。酒味寒方加。問字無多暇。何辭到曉鴉。

○雪泥——云西國
○耶馬溪——應之
○下——モヤ丁摩訶
○雁——モヤ丁摩訶
○村——モヤ丁摩訶
○心——モヤ丁摩訶
○耶馬溪——應之
○カ——カカタ
○ナル——カカタ
○イ——カカタ
○セ——カカタ
○獨樹村——云林南が
○自——カカタ
○ウ——カカタ
○カ——カカタ
○カ——カカタ
○カ——カカタ
○カ——カカタ

○詩思——カカタ
○加——カカタ
○實——カカタ
○中——カカタ
○ハ——カカタ
○ヨ——カカタ
○ケ——カカタ
○タ——カカタ
○ク——カカタ
○ル——カカタ

擇師——云今度君績モ山陽ノ熟ヲ出テ師ヲ擇テモトノ醫業ヲ
摺百セニテララシクトナシ

磨礪——云今度君績カ醫業ヲ子ヲ付テモ今マテ儒書ニ骨朽テ
アルコトノ十第ヲテ覺ラズニ三年示覺テ辭テ去ニ進テイツテ熟ク

田廬——鐵一丘付テ柘氏ニ田地モ宅モ結搆トモノ有テソハ大君績
ノ父ノ柘中尉也柘一丘付テイ各々食ヲムル山ニアルニゴゴルテヤウル

多暇——麻屋ノ君績及父公ノ閑暇ヲ多クシテ平生書ヲ讀テ下
十日ノ石ニ九日ハ麻屋ノ下ニテ書ヲ讀テテヒアイマ一日ノ際ハ出レハヨイ何

離群——鐵一丘付テカラス群ヲハナレテ父公ノ願ニソムクトハイ氏父公
モコノ方モトモニ五畿内ニシテヨイ云

モコノ方モトモニ五畿内ニシテヨイ云

山色青模糊。波紋紫破碎。殘陽光已收。猶在一帆背。
家遙斷雁邊。船守下碇處。鄰有筑前船。揚揚峭帆去。
卸得帆無恙。呼來杯有情。穿鞋猶帶醉。大地可橫行。

右舟路

為橋元吉重寫耶馬溪山水圖

沒跡紅塵十二年。雪泥鴻爪已茫然。心裡溪山青未了。為君展作半縑烟。

冬夜強檄至同賦

霜威收水語。夜色壓燈花。喜汝雙鞋道。尋吾獨樹家。詩思老益退。酒味寒方加。問字無多暇。何辭到曉鴉。

○詩思加ケレハ山陽自多ク思ハ老天老シク
○酒味加ケレハ酒ヲムクナラ
○實中ハヨケシタクナツテ

雪泥一云西國
耶馬溪雁が雪三爪
心裡溪山カランカク久クハ
耶馬溪ナルハ溪山ノヲモト
知心イ知心ニ手モズレ
獨樹村自カキヨル知ニ村ヲ
之ヲウチゴサツクニツカ
之カラカク天用全ノ

○名場ハ詩文ノ場所ノ

汝ハ強哉

○送柘君績歸河内之詩ハ詩ハ格別

○遊息ハ一云ハ知
○君績ハ呂連
○松菊ハ一云ハ
○今君績ハ在在
○方ハ松菊モ
○唐ハ成ル天アラ
○一ハ一云ハ
○一ハ一云ハ
○一ハ一云ハ

又

土瓮浮春蟻。銅餅插水仙。杯盤同靜夜。霜雪已殘年。詩每落人後。醉誰居我前。名場甘獨退。望汝著先鞭。

送柘君績歸河内

北風吹雁群。一雁獨南飛。雖得棲宿所。奈與朋侶違。長思子孤子。童齡向我依。父視雖有愧。子育且絳幃。游息每提挈。風雩又浴沂。木國暑隨轎。榛城寒執鞭。擇師研舊技。磨礪導進機。松菊慮荒廢。粉榆告言歸。田廬先業在。未憂寒與饑。多暇親書卷。十日九掩扉。離群雖睽願。同在斯邦畿。郵傳非太僻。書信未應稀。有才多嫉怨。無恆難巫醫。忠篤

行。寧。憂。州。里。譏。志。進。而。身。退。吾。言。當。佩。韋。

君。績。將。歸。畫。林。莊。雨。霽。圖。贈。之。係。以。詩。時。己。丑。臘。月

也。雨。足。春。耕。作。早。也。

墨。心。黯。澹。寄。離。情。好。在。先。廬。想。穆。清。雨。足。山。田。春。未。及。一。

林。晨。影。讀。書。聲。

題。鶴。作。詩。隨。方。也。

蘆。荻。託。棲。遲。江。湖。垂。羽。翼。平。生。萬。里。心。鳧。雁。渠。何。識。

除。日。

紛。紛。帳。簿。婦。當。家。殘。歲。真。如。赴。壑。蛇。不。問。計。餘。餘。幾。許。眼。

前。有。酒。有。梅。花。

不。問。許。不。問。許。

里。志。一。區。林。莊。雨。霽。圖。予。久。不。見。情。ヲ。コ。シ。テ。ヤ。ル。一。也。在。一。區。君。績。墨。心。黯。澹。寄。離。情。好。在。先。廬。想。穆。清。雨。足。山。田。春。未。及。一。林。晨。影。讀。書。聲。題。鶴。作。詩。隨。方。也。蘆。荻。託。棲。遲。江。湖。垂。羽。翼。平。生。萬。里。心。鳧。雁。渠。何。識。除。日。紛。紛。帳。簿。婦。當。家。殘。歲。真。如。赴。壑。蛇。不。問。計。餘。餘。幾。許。眼。前。有。酒。有。梅。花。不。問。許。不。問。許。

山陽遺稿卷之四 畢

山陽遺稿卷之五

賴襄 子成著

庚寅

題北條時賴佐楚經世圖二首

雪白煙紅亦偶然
龍身魚服豈虛傳
聰明照徹覆盆底
業鏡高懸三十年

殘芻喂馬雪來時
破竈無薪飯熟遲
梅意松心歲寒節
陽春有脚聖先知

詩佛寄示悼亡詩賦此弔之

遙憐尊酒欲謀誰
腸斷風清月白時
贏得君家詩卷裡
長

遙憐尊酒欲謀誰
腸斷風清月白時
贏得君家詩卷裡
長

雷絕妙悼亡詞
相攜一丘細香牙嵐
山ハツレテユクヲヨシ

雷絕妙悼亡詞
將遊嵐山細香至
將欲看花君恰來相攜明日即佳期滿懷喜氣眠難著起見春星帶屋垂

嵐山
白頭仍對萬株紅又挈匏尊向此中汗漫不知身已老閱過二十度春風侍輿去歲已殘葩攜酒今年半發花誰識醉歌含暗恨音容一別又天涯

閏三月六日劉溥卿之子元載來訪曰溥卿繼來

侍輿
相攜一丘細香牙嵐
山ハツレテユクヲヨシ

疎快
老泉
子由

未得故人來先見故人子揖進突而弁溫肅己可喜撥袖出新文璀璨拭目視疎快有父風寧可搖吾嘴老泉生瞻

賀書

賀書
子由

七日溥卿至

七日溥卿至
碕陽分手十三年今日相逢亦瞥然嚴隊抽身真不易可

歸家強哉至

歸家強哉至
出遊歸來已黃昏喜得剝啄恰到門醉伴已散更得君呼

雷絶妙悼亡詞
長谷川信長
詞卷中
絶妙九悼亡詞

相攜一丘細香牙嵐
山ハッレテクフナシ

雷絶妙悼亡詞
將遊嵐山細香至
將欲看花君恰來。相攜明日即佳期。滿懷喜氣眠難著。起見春星帶屋垂。

嵐山

白頭仍對萬株紅。又挈匏尊向此中。汗漫不知身已老。閱過二十度春風。
侍輿去歲已殘葩。攜酒今年半發花。誰識醉歌含暗恨。音容一別又天涯。

閏三月六日劉溥卿之子元載來訪曰溥卿繼來

疎快
老泉
子由
又劉溥卿之子元載

未得故人來。先見故人子。揖進突而弁。温肅已可喜。寶袖出新文。催祭式目視。疎快有父風。寧可搖吾嘴。老泉生。

駕鉞

駕鉞ハヨツクウマシ
ソコ元載後コノ方ハ誠ニ駕鉞ニヤウナ後ニタズテモ其ノ人ノ父ハ互ニ産レヤニヨテ
ヲカイトスニキ年ハ誠ニ駕鉞ニヤウナ後ニタズテモ其ノ人ノ父ハ互ニ産レヤニヨテ

船傳御加旦那
供ミテキヒシ行利
中カラ内迄天身タ又
キンテノ京都ヨツテ
ヲ方ノ知身ヲキテ
レタヨツテ知身ヲキテ

碕陽分手十三年。今日相逢亦瞥然。嚴隊抽身真不易。可能小住共航船。

歸家強哉至

出遊歸來已黃昏。喜得剝啄恰到門。醉伴已散更得君。呼

雷絕妙悼亡詞
長安杜少陵詩卷中
絶妙九悼亡詞

雷絕妙悼亡詞
將遊嵐山細香至

將欲看花君恰來。相攜明日即佳期。滿懷喜氣眠難著。起見春星帶屋垂。

嵐山

白頭仍對萬株紅。又挈匏尊向此中。汗漫不知身已老。閱過二十度春風。
侍輿去歲已殘葩。攜酒今年半發花。誰識醉歌含暗恨。音容一別又天涯。

閏三月六日劉溥卿之子元載來訪曰溥卿繼來

疎快
老泉
子由
又劉溥卿之子元載
又劉溥卿之子元載
又劉溥卿之子元載

未得故人來。先見故人子。揖進突而弁。溫肅已可喜。寶袖出新文。璀璨拭目視。疎快有父風。寧可搖吾嘴。老泉生瞻由。叔黨更後起。一家出西僻。鍾此天下美。勉旃不墜聲。小成何足恃。鴛鴦亦父執。勿笑徒馬齒。呼杯餞汝行。欄前暮山紫。

嚴隊
船溥卿
供三
中カラ
キンテ
コノ方
レタヨ
剝啄
哉か
子テ

七日溥卿至
碕陽分手十三年。今日相逢亦瞥然。嚴隊抽身真不易。可能小住共航船。

歸家強哉至

出遊歸來已黃昏。喜得剝啄恰到門。醉伴已散更得君。呼

今日... 己残... 花... 實...

今春... 己残... 花... 實...

京國花稀綠樹稠... 盡杜鵑出信州

報國心長短髮凋... 抽身宦海自今朝

報國心長... 朝... 報國心長...

報國心長短髮凋... 抽身宦海自今朝

北門... 報國心長...

一隊舟... 報國心長...

出合... 報國心長...

日向... 報國心長...

且又... 報國心長...

因 枉 河 燕

今日一 巨強哉 友方も今日花天尋子ニテ夕如か花コトクモ天
雨窓与細香話別

今春 己残 巨細香か花ヲミト 故シテ上京イタセタカ 国月ガアツテ花
花ノ時ニ及テオク天雨ガフツテ花ヲシマイツケテシツタムコトニテマコトニ
実スノヘテ聯句ニシタモノシ

京國花稀綠樹稠 薰風飛錫又東遊 道人非是思歸客 聞
盡杜鵑出信州

聞杏翁休官贈以磁杯頗大者

報國心長短髮凋 抽身宦海自今朝 猶餘磊砢滿胸赤 把

報國心長 朝臣
杏翁 休官 贈以 磁杯 頗大 者
猶餘 磊砢 滿胸 赤 把

海

司 巨島津が海ヲ越テ朝鮮ノイリコシテ大戦ヲスルハシテモアトカケル

一隊舟ニテ攻レ氏マズアト兵ガ舟ノ覺悟ヲモシテ先方ニアル先方ノ敵ハ又コソ方ノ
人般ニシテツケテソコボハルトドフモ 敵シ方ガダイユナイ 島津モ果シテ右ノ危難ニ
出合テソレマタ自ラ子ジセテシツタ人ニテモ 識ニ句目ニ云テアルナイ

天 巨島津が朝鮮ノ方ノ敵ガボウテクルヲ子ジフセテ大戦ヲシタハ誠ニ天
マテ 郷音キ返ルクライノ 戦ヒテ島津ノ威勢モモトニヨカツタコトヲ云

頭 巨島津が朝鮮ノ雞林山ニ戦ツタ自カシガタナホヨサニ大朝鮮
人ノ血ヲツケテ又カテ括キタ

向 巨島津及朝鮮ノ大戦ハ大ニキガ 亘シカツタツレニ又今度マケテ日本
ニ向テ再ヒアルツタハドフモ 元キカワルカツタ云フニテコレハ 巨島津ガ 慶原ニテ石田ニ成ト
合戦シタコトヲ云

精洲 日本ノコトヲ云

妻更爲溫餘尊。今日尋花花盡落。家有一餅插殘萼。

雨窓與細香話別コノ七律ハ誠ニ奇ニ妙ニテイカ大山陽トイハレ九年ニ

離堂短燭且雷歡。歸路新泥當待乾。隔岸峰巒雲纒斂。鄰

樓絲肉夜將闌。今春有閨客猶滯宿。雨無情花已殘。此去

濃州非遠道。老來轉覺數逢難。

送觀牛師東行

京國花稀綠樹稠。薰風飛錫又東遊。道人非是思歸客。聞

盡杜鵑出信州。

聞杏翁休官贈以磁杯頗大者

報國心長短髮凋。抽身宦海自今朝。猶餘磊砢滿胸赤。把

燭毛中夜深
燭毛中夜深
燭毛中夜深
燭毛中夜深
燭毛中夜深
燭毛中夜深
燭毛中夜深
燭毛中夜深
燭毛中夜深
燭毛中夜深

報國心長
報國心長
報國心長
報國心長
報國心長
報國心長
報國心長
報國心長
報國心長
報國心長

杏翁休官
杏翁休官
杏翁休官
杏翁休官
杏翁休官
杏翁休官
杏翁休官
杏翁休官
杏翁休官
杏翁休官

黃梅墜地
黃梅墜地
黃梅墜地
黃梅墜地
黃梅墜地
黃梅墜地
黃梅墜地
黃梅墜地
黃梅墜地
黃梅墜地

北門
北門
北門
北門
北門
北門
北門
北門
北門
北門

中原
中原
中原
中原
中原
中原
中原
中原
中原
中原

獨眼
獨眼
獨眼
獨眼
獨眼
獨眼
獨眼
獨眼
獨眼
獨眼

且又
且又
且又
且又
且又
且又
且又
且又
且又
且又

公ハ大将ガ詩ヲ作ル。又朝ヲ横ニ云テ戰ヌヤツテナカニ詩ヲ
作ル。作ル。英雄ハトクコト。伊達政宗公ガカノヤ
肉生。云ハ末ニ成テ来テ戰モ收テ馬モ。ランユハ肉ガモ。夕ニ生シテ来テソコテ
マツ軍鋒ヲオサシメ謝タリ

龍ハ神君ガ出テ来テモ。中原ハ雷雨ヲオサシメ。河北ハスヘテ
獨眼ハ政宗ハモ。成テシマウテアラウ云。中原ハ関ハ州ニ入。何北ハ出。相與
カタマツク。又。李克用。ク。モ。テ。キ。ハ。妙。也

且又コトモ。召公南ガ燕ニ封セラレテ。居タユヘ。加身。ハ。前田ヲ召公。建。ニ。系。ル。カ。秋。柄。燕

燭更中夜更深
雨窗與細香話別
離堂短燭且雷歡
樓絲肉夜將闌今春有閨客猶滯宿雨無情花已殘此去
濃州非遠道老來轉覺數逢難

送觀牛師東行

京國花稀綠樹稠
薰風飛錫又東遊
道人非是思歸客
聞盡杜鵑出信州

聞杏翁休官贈以磁杯頗大者

報國心長短髮凋
抽身宦海自今朝
猶餘磊砢滿胸赤
把

報國心長
杏翁休官
贈以磁杯
頗大者

個溪杯時一澆

貽星岳梅子

黃梅墜地不酸牙
拾寄書窻看奈何
花下曾謀卜鄰計
因循已半年過

詠史絕句十五首

絕海窮兵難結局
掀天大戰有餘威
戈頭已拭雞林血
枉向靖洲再一揮

橫槊英風獨此公
肉生髀裏斂軍鋒
中原若未收雲雨
河

北門鎖鑰本同儔
六尺嬰孩任大憂
保贖不持分陝柄
燕

伊達政宗
車子

志津表

前田利家

十口日五書之矢

信玄ニアイサツスルニ信玄ハ平氣サメウチノイテ居テ下天
 三此方ハカヤツシモ足利將軍義輝カラ管領職ヲ貰テフルニ
 礼ナヤツギ云テ謙信立腹初信玄ハ云ニバカガ足利將軍カラ貰タ
 管領職ガ何レ設タツモバヤ云天信玄ハ西口カラカシテ喧譁
 テソコ今ニ至ルテ出羽ノ足利侯ハ高ハ少シテモ謙信ハ入
 テモツルテトナルルガテキルハ右ニツイテ謙信ハ信玄ニ對シテ
 劍ヲスルカカシテイキンタ餘光ガアルニ足利侯ガハ公義ハ出
 心腹馬号ガトナラレルヨテ謙信信玄ニ對シテイキンタ
 テシマイハセヌ云

當 休 惜 誰 千

山陽 一書

コノ氏徳川ノ自利會津

貞兒

項羽ノ軍モツヨク成タ云今大將モ帷後賢ハ用イタ
 楚ノ項羽モ自江入渡越テ行テカス大ニ自多
 劉氏ヲ徳川ニテ大岡ガヤスレクヨテ
 信玄ノ孫ニ至ルテ阿波國ヲ貫テツテテキル云
 先終徳川ニ付テ居テ今ニ至ルマテ山ノ内ガ土佐ヲ世テフルガ
 天キル云トナリ見テ今ニ至ルマテ山ノ内ガ土佐ヲ世テフルガ

木 此 侍 鼠 壓

分
謙信の死後、誠意を以て上杉家が徳川に降参職ヲアケテ天
住川に降参シタツタリ

得
先「信」謙信が曾上洛シテ足利將軍義輝ニ管領兼度使
ノ名目ヲモラツテ後謙信ト信テ川中島ニ於テ合戦シ、謙信ハ馬ヨリ下テ
信テニアイサツスルニ信テ平氣サテウチノイテ居タヌハ謙信大ニ立腹シテ
此方ハカイリシモ、足利將軍義輝カラ管領職ヲ貫テアルニ對シテ
礼ナヤツギ云テ謙信立腹被シ、信テ云「云ハバカメガ足利將軍カラ貫タ
管領職ガ何レ被シタムモ、信テ云モ、悪口云カラカシテ喧嘩シタカ有
テソコ今ニ至ルマテ出羽ノ承沢侯ハ高ハ少シモ、謙信ハスエキユハ公義ハ出
テモ、關原ノ事ナルハキリハ右ノ方ニ謙信ハ信テ對シテ一
愈「テ」カカシテキニ餘カアルニ、承沢侯ガハ公義ハ出テモナク
ハ關原号ガトナレリヨテ謙信、信テ對シテキニ出「モ」マシカスホフニ成
テレマイハセヌ云

山内一豊

春共、太平天

江
堪「信」楚ノ項羽モ身江テ度リ越テ行テカス大ニ自多シ方ハホコ
サキガスルドク成タハ、何モ、平シ「ハ」點布云マテウ、將ニ任シタニヨテ
項羽ノ軍モツヨク成タ云「天」今太周モ、輕「頃」賀ハ、用イタ名ハ大ニ軍
勢イガフルツテキタリ

項羽
南「信」太周ニシテ、劉氏ヲ徳川ニ名ヘテ太周ガヤスレタヨテ
信川ニ帰シテ、シマツタガ、畢竟太周ニシムク云、沢ハ寸モナイ、シヤニヨテ、輕
氏ノ子ノ孫ニ至ルマテ、阿波ノ國ニ貫テタツテ、アル「ガ」テキル云「テ」四國
淮南ニテ、ト「方」角モ、ヨク「ア」クテ、モシロイト、太乙先生云

先終、徳川ニ付テ、居タリ、今ニ至ルマテ、無キカ、エテ、世ヲテ、
テキル「ト」ナリ、相止、見、啼、喚、夜、

池田 輝政 父信輝 長久手 徳川公ヨロサレ...

曾

自

當

石川が氏 郷三奥妙 會津 大鎮ナ知テ捨テ...

千春 池田 輝政 父信輝 長久手 徳川公ヨロサレ...

山陽

一豊

徳川ニ身方ヲシテ居ルシ又妻子 産大後...

池田輝政の父信輝が長久手を治すに注川公三郎を召寄せ入るに當

中川勝秀

郎君 信長の子に信孝ありてその信孝が明知光秀
ヲ亡シテ其父ノ仇ヲ復シテヤツタスイカ大信孝モゴトニ喜ビテ信孝ノ手
ヲニキツテ丁寧ニアイサツム礼ヲ云々

憎殺

信長が清孝の心は郎君の徳を以て向ての丁寧に礼ヲス
セラレシメシドニイドヤツコノガ實ニ坐シテ平氣ヲテケツカツテコノ方ニ方ニロク
サマ礼モゴクガラン云々大信孝がカシシムルに家如刻々藤吉

却為

信長が清孝が家如ヲシテハヨシカツテテテ又信孝が家
如ガシメシスガタケニ城ヲイテウチジニテ敵ヲエバシメテ名ドフモガテンイ
カンフジヤ

千春のホマテ太平の天ヲ戴テケレル玉水ハムコシウトノチヤ

春共戴太平天

石田三成

一擲

孤注難成ハイナカバカ云々ニテタイヘハバクチニ追マケテマア
百文キクニ成タ我ヲカケテコシテ勝テハヨシマケバツナイ云々
三成がアノ天下ヲヒトナケウチニシテ孤注ニコトクニシテソノ徳門ヲセリヤツタコ
ニヤ

誰知

老手ハ黒田如水ノ一ニテ石田三成ガ徳ヲトセリヤツタコトガ
中ニ傳リニカツハテキニシテコケバヨイニ云々黒田如水ノガ笑テカクキカラニテケ
カル

加藤清正

枉止兒啼喚夜叉威靈無補子孫家誰言長物唯長鬣壓

詩

十印月正書之矣
長久手は徳川公ヨサレタス
當

瑠石蹄

ハハカカケカ明ト合戦シテ餘キヒシエテ朝鮮ノ瑠石蹄鶴

敵勢

明ノ方ノ敵カラス勢ヲ振天潮トトク矢ヲスイツテイコスノ天

万死

ハハ明ト合戦ヲスルツイテ死スルカイキルカ云フヲヤント決談シテ

誰論

ハ或ノカハ早リ書判ハ手書ガ多クイヨテ早速シテ決シ又

千春ノホマテ太平ノ天ヲ戴テヲレルノ王水ハムコシウトノ

春共戴太平天

當日ハ徳川公ガタクノキマニアウ福島正則ヲ使テ居テソノ目ヲミ

ウタレタリナドスルヲタスケテ世々

楹車ハ正則モ始メ徳川公ヲタスケテ居タ知カセ後又徳川ニシムイタ

マコトニヨス使川ノ思ハニテ思テハサイ云フニテ後家ヲ列使川ニシムル

枉止兒啼喚夜又威靈無補子孫家誰言長物唯長鬣壓

馬鈴 一 辰池田輝政又信輝が長久手ニ於テ往川公ニヨサレタヘヨテ
 子輝政ヲモフニ今往川ト大岡ト小牧ト大山ニ陣シテフルヨテソテ
 輝政ガモフニ今往川ト大岡ト小牧ト大山ニ陣シテフルヨテソテ
 天何テモコソカニ又カキニ岡崎ニツ取テシラフト思フテツメ輝政ガ大山カス長
 久手マテツト往川ト小牧ト山ヲ及シテシテボウヘテユクト長久手ニ往川ト輝政ト
 右義ヲ及シテ往川ト小牧ト山ヲ及シテシテボウヘテユクト長久手ニ往川ト輝政ト
 川ニテヤラト思召シテモ中ニ往川ト方ニ威勢ガツヨイニヨテテモ及フテハ
 ニテ先一且大山ヘツ取リカヨシテ云々カツガ諫テモ中ニ輝政ソレヌ一寸モキニ
 レス怒テ馬ノアブミテ血ヲソイテ僕ノクツカツク肩ヲケイカラカシタレハカ
 ツレテ立腹モセズニ若クハ大山ヘツテスキテシマツクヤイ
 含垢 一 辰ハソテ輝政ガカキヲ得ウクナンクフヲ珍念カツテマコトニ
 アタシテ含テ大山ノ方ニ馬ノクツワカニシテモトルフハモトルツテモ誠ニサシ
 ガツテヨルヲヨ云
 誰料 一 辰ハ往川ト池田トスレヤツテレハ後ニツイニ和睦シテ往川ノ方
 カス池田ノ方ニ娘ヲヤツテムコシウトニ成テツイニウラミテイテシマツクヤイ
 千春ノホマテ太平シテ天ヲ敷テヲレルト玉氷ハムコシウトノヲ云

春共戴太平天

過江誰怪楚鋒鋷任將會知黥布堪項斃歸劉非負項兒

枉止 一 辰ハ清心ガ朝鮮ノユクトゴトニ皆ヲジテ淋天見啼マテモ
 止ル位ニキツイナクケレハ位ニ威震ガ在テモ子ノ孫ニズル補ヲ得
 シラレナンタヨテコロト悻代ニ成テ亡テシマツクヤイ
 誰言長物 一 蛇長物ニ用ニ在物ニテ或付神君ガ清正ニシテハ公ノ
 肥後ニ築イタドエラニ城モコロト細川ノモ成テシマツクヨテシテニルト苦ク
 テ城ヲ築イタガ丁度足ヲカイタレビシク持ナモノジヤ云

是漢家真少恩

枉止兒啼喚夜叉威靈無補子孫家誰言長物唯長鬣壓

加藤清正

山陽正遺稿卷五

詩

四

上松謙信

蒲生氏郷

中川清秀

小早川道景
池田輝政

封卻自冠羣族

依分樹國最稱強。何料東風降幟颺。猶得開門為節度。當
初一劍有餘光。

會捐大鎮壓羣雄。自壞長城誰誤公。當日花根占豐土。休
將作惡罵春風。

郎君握手語嘔嘔。憎殺家奴坐在輿。卻為渠儂供敵餌。惜
君一死意何如。

碧蹄館下羽書馳。敵勢如潮獨力支。萬死兵機立談決。誰
論華押字成遲。

馬鎧濺血踢奴肩。含垢回鑣尚憤然。誰料玉冰終釋憾。干

春共戴太平天。

過江誰怪楚鋒鋷。任將會知黥布堪。項斃歸劉非負項。兒
孫長得有淮南。

隔離兒女死生關。際會風雲向背閒。一條笠繫八行字。傳
得海南千里山。

一擲乾坤孤注難。誰知老手咲傍看。臣門如市心如冰。此
脚寧堪跨馬鞍。

當日使鷹資搏擊。它年縛虎禁騰奔。檻車彭越免菹醢。未
是漢家真少恩。

枉止兒啼喚夜叉。威靈無補子孫家。誰言長物唯長鬣。壓

山内一里

黒田如水

福島正則

加藤清正

鷹原ハノ本多ハモトハ鷹方ヲ執テ居タカハ面ヲアラタメテソノ徳川公ハ
大のノ臣下ニ成多ク
軍策ハ本多モ丁度昔シテ張良ヲ得ニ分イコトヲ唯中ニ故縱被流活孰

曾參高虎 尚ハ高虎ガカツテ大イナル鳥ニヒルカル如クテ居テ早ク

鷹ハ多ハカイノツイタムニテ飛鶴翔翔ノマヲ豊臣ノ七將ニ示レ

強幹ハ公義ノコトニシテ大者ノニシテ先世ガ祖ルハ

名ツタケレモシタ外ニ大名ガ公義ニ對シテ及スルコトヲ公望我ニ感執ヲ
ツヨクシテ諸大名ノ勢ヒヲツカラシメテ年々公義ノ系ヲ交代スル存エルカ
巨分イコトヲ高虎ハシク獻シタ

相走ル獸ヲ得タ相走ル功ヲ大ニシタモヤガ善術何又安大ニ揚圖ヲスル
相走ルモノモヤク相走ルトドクハハハハ天子カキヤソノ外ノ人モ誰レハアテナ
ヤツタスヲチナ

行騰連日蹋炎沙。到得君家如到家。呼僕灌泉呼婢浴。臥
看涼月在簷牙。

○自室津舟行

沙鷗猶戀舊江灣。廿歲榛洋數往還。幾處粉牆三備地。半
空黛色四州山。客愁帆影櫓聲裏。鄉夢鴉啼月落閒。早旭

吾少ハカクテニ似テアルカ 吾少ハカクテニ似テアルカ 吾少ハカクテニ似テアルカ

雖ハカクテニ似テアルカ 雖ハカクテニ似テアルカ 雖ハカクテニ似テアルカ

早旭ハモヤクツツケ舟ヲ
在如クテ方ハ岸ハ
ツツケ舟ヲ相面テワ
顔ヲシテ教テ

山陽先生

山陽先生遺稿卷五

鷹原ハヤシ 一云本多ハモトハ鷹方ヲ執テ居タカハ面ヲアラタメテソノ徳川公ニ

運策ウネ 一云本多モ丁度昔シテ張良ヲ招ニ分イコトヲ唯中ニテメグラシス

羅網ラウ 一云石田三成ガ弟田徳川仲遠イテサセテソノ徳川公ニ

孰シク 一云昔シテハ蕭何ハ楊キイ食邑ヲ沢山ニ貫ツタ外ハ臣下

何斗ナニ 一云山ノ慶賞ガ多ク出タ天子ノ御心ニシテモ山ノ慶賞モナシ蕭

相走アハ 一云犬ノ得タ相走トトクナニハヘント天子ノ御心ニシテモ山ノ慶賞モナシ

ヤツタヤツ 一云モモノガナクツタリソコテ今本多ハ功アル大モツタ大ニ指圖ヲスル彼モ西方

行騰連日蹋炎沙。到得君家如到家。呼僕灌泉呼婢浴。臥看涼月在簷牙。

○自室津舟行

沙鷗猶戀舊江灣。廿歲榛洋數往還。幾處粉牆三備地。半空黛色四州山。客愁帆影櫓聲裏。鄉夢鴉啼月落閒。早兎短蓬維故岸。相迎一咲粲慈顏。

望五劍山有懷故柴栗山先生

南望讚岐州。遙指五劍山。山峰如列劍。峭立衆嶺端正襟。遙拜之。非山思其人。柴公吾父執。實產出其間。應運振頰俗。天意秀氣攢。吾少瞻其貌。有似此孱顏。雖非甚魁梧。自

應軍オウ 一云山先生ハ軍命ニ
柴栗山先生ハ軍命ニ
應軍ハ軍命ニ
柴栗山先生ハ軍命ニ
應軍ハ軍命ニ
柴栗山先生ハ軍命ニ

早兎ウサギ 一云顔ハ
ハモヤツツクハ
在知ハモヤツツクハ
ツツクハモヤツツクハ
顔ハモヤツツクハ

本多正信

藤堂高虎

自後藤堂

江君が多くニ来ル
小見物コノ方カ在所
ユク井元元ノト區
ヨサセルモ天キズユ
キナカイニナル
平生一閑ハハツ
子平生ハ五ニ手紙
ヲヤヒキシテ疎後
ニナイ

山陽先生遺稿卷五

海高城畫足蛇。

鷹師革面即元臣。運策帷中獨絕倫。羅網故縱狡兔活。孰
為功狗孰功人。

曾參飛鷁翱翔處。早附冥鵬羽翼閒。強幹弱技謀數獻。自
家卻在一枝班。

庚寅六月省母氏病西下會赤關廣江生來未數日
而別

十七年間君再來。君來吾往每參差。平生魚雁無稀闊。卻
向天涯作別離。

姬路投馬場元華

行騰連日蹋炎沙。到得君家如到家。呼僕灌泉呼婢浴。臥
看涼月在簷牙。

○自室津舟行

沙鷗猶戀舊江灣。廿歲榛洋數往還。幾處粉牆三備地。半
空黛色四州山。客愁帆影櫓聲裏。鄉夢鴉啼月落閒。早
短蓬維故岸。相迎一咲粲慈顏。

望五劍山有懷故柴栗山先生

南望讚岐州。遙指五劍山。山峰如列劍。峭立眾嶺端正襟。
遙拜之。非山思其人。柴公吾父執。實產出其間。應運振頰
俗。天意秀氣攢。吾少瞻其貌。有似此孱顏。雖非甚魁梧。自

應軍一攢
栗山先生
應之凡俗又振
公之山僧者三
抱之ラレサシ
三子
三子
天ヒイ天ヒイ
マツテフル
マツテフル

早魁
ハモヤツツク
在如ク
ツク
顔ヲ

山陽先生遺稿卷五

詩

五

文辭... 顧... 方... 度... 舟... 船... 如... 獨... 前... 浮... 烟... 落日... 帆... 欹... 處... 遙... 指... 藝... 州... 阿... 那邊... 舍... 舟... 上... 陸... 過... 兒... 鴉... 有... 懷... 備... 後... 三... 郎... 買... 舟... 室... 津... 口... 風... 潮... 違... 我... 卜... 三... 泊... 及... 備... 前... 決... 計... 終... 上... 陸... 備... 海... 所... 灣... 入... 地... 勢... 南... 屈... 曲... 隔... 水... 認... 熊... 山... 蒼... 翠... 層... 又... 復... 憶... 昔... 三... 郎

阿又キニ眠テアルガコ
ノクヒニ行斗ハカ
テ、急クハドフエウ
ワケ、シヤ、ハ、ト、ニ、テ、ク
ケ、向、テ、急、ク、ク
ケ、ヲ、ク、ナ、イ

凡潮...
イニ、目、ヲ、イ、カ、レ、テ、
舟、ハ、カ、ク、手、ヲ、取、テ、
ヲ、方、ハ、ト、ニ、遠、ク、
ヲ、ク、ル、

備海...
高、竹、靴、ガ、何、テ、モ、フ、方、ガ、一、ツ、働、テ、身、ヲ、方、ヲ、シ、ヨ、ト、思、フ、志、シ、モ、ク、ジ、ク、タ、リ、

高竹靴...
昨日...
テ、シ、レ、ト、

看鼻...
一、巨、ハ、看、鼻、ハ、矢、ア、ウ、ケ、ル、モ、ニ、高、竹、靴、ガ、十、字、詩、ヲ、カ、ク、片、看、鼻、

備回...
巨、ハ、備、後、運、國、備、後、守、ヲ、カ、ク、夕、日、立、方、鼻、形、榮、

芳臭...
巨、ハ、備、後、守、ヲ、カ、ク、夕、日、立、方、鼻、形、榮、

忠孝無...
巨、ハ、備、後、守、ヲ、カ、ク、夕、日、立、方、鼻、形、榮、

經過...
巨、ハ、備、後、守、ヲ、カ、ク、夕、日、立、方、鼻、形、榮、

欲起...
巨、ハ、備、後、守、ヲ、カ、ク、夕、日、立、方、鼻、形、榮、

至竹原與陳甫同舟赴廣嶋
來路遙遙指海瞰心期明日見慈尊朝煙漸散波如織柔

文辭——云八栗山之文章、作以方ハ六ニナシ、ヤセガタ、凡テソノ又コト
顧吾——云粟山先生、方ヲカ、リニテ、ヲシヘシド、云テ、下カ、マコト、此
方、格、ナ、物、モ、ラ、ウ、ハ、丁、度、ナ、イ、ホ、ク、モ、ラ、ス、ル、格、ナ、モ、シ、ヤ、ウ、

行噴暗何乃爾母病在蓐兒在船
落日帆欹處遙指藝州阿那邊
船行如谷意獨前浮烟

○舍舟上陸過兒鴉有懷備後三郎
買舟室津口風潮違我卜三泊及備前
決計終上陸備海所彎入地勢南屈曲隔水認熊山
蒼翠層又復憶昔三郎

凡潮——ト云ハ大イニ目ノタイガレテ、舟、ハ、カ、キ、ヲ、取、テ、方、ハ、ト、ニ、遠、ク、テ、ハ、シ、テ、モ、油、斷、シ、テ、又、足、利、ニ、ホ、レ、テ、イ、ヌ、イ、終、イ、テ、ヨ、ク、ス、ル、ガ、キ、ナ、ク、ハ、ソ、コ、ニ、見、島、
備海——曲、云、備、前、ノ、海、ハ、如、シ、ク、イ、テ、
向踐——路、越、王、向、踐、ヲ、後、醍、醐、ニ、入、花、義、無、不、見、鴉、高、竹、乾、ニ、入、テ、後、醍、醐、モ、一、旦、中、
高竹乾——何、テ、モ、方、ガ、一、ツ、働、テ、身、方、ヲ、シ、ヨ、ク、ト、思、フ、志、シ、モ、ク、シ、ク、タ、リ、
昨日——目、云、昨、日、ヨ、ク、ハ、高、竹、乾、ノ、石、碑、ハ、立、テ、居、テ、又、ハ、目、ニ、

看自昇黑土——云、看、自、昇、ハ、矢、ヲ、ウ、ケ、ル、モ、ニ、テ、高、竹、乾、ガ、十、字、詩、ヲ、カ、ク、片、看、自、昇、
備前——云、備、後、ノ、國、ハ、三、度、ホ、ド、モ、備、後、守、ヲ、カ、タ、リ、シ、
芳臭——云、備、後、守、テ、モ、見、鴉、ハ、ミ、タ、格、ナ、ク、ハ、未、マ、テ、忠、義、云、ニ、リ、ヤ、カ、ク、
忠孝無——祝、云、見、鴉、ハ、マ、コ、ト、ニ、忠、義、モ、ス、ル、シ、孝、公、モ、ス、ル、シ、又、ケ、ン、ナ、イ、ノ、草、
經過——云、見、鴉、ノ、生、レ、在、名、ノ、備、後、ヲ、テ、ク、過、テ、太、丁、ド、島、ガ、見、鴉、
欲起——讀、云、高、竹、乾、ノ、英、雄、大、名、イ、テ、起、シ、テ、夫、公、ハ、平、生、何、ヲ、コ、シ、居、

至竹原與陳甫同舟赴廣嶋
來路遙遙指海暎心期明日見慈尊
朝煙漸散波如織柔

談論 云云
色ノ論ヲ
ハシテ
ヒツサケテ
ルドイ
...

平生 何乃爾
云云
...

備海 曲云備
...

高竹 靴ガ
...

隆兄 云云
...

拔羣賢班談論挺鋒鏑文辭靡不寒顧吾謂可教朽木庶
雕刻當時貪嬉樂悔不屢往還前輩日已遠從誰鞭駑頑
曲刑今安在山容獨噴坑

舟中短歌 詩ハ誠ニヨキ詩ニ始クニ句ニ誠ニ在ルニ方ニ急ク公ワイ
聞下碇愁拔碇喜數問朝來行幾里平生上舟即仰眠此
行噴暗何乃爾母病在蓐兒在船船行如卻意獨前浮烟
落日帆欹處遙指藝州阿那邊

○舍舟上陸過兒鴉有懷備後三郎
買舟室津口風潮違我卜三泊及備前決計終上陸備海
所彎入地勢南屈曲隔水認熊山蒼翠層又復憶昔三郎

氏勤王舉其族一唱奪輿謀兩建防賊策句踐無克終范
蠡志數踣昨過彌陀驛乃父事在目家世傳忠義寧讓楠
與菊盾鼻墨可磨當時唯君獨備國三換主芳臭形榮辱
忠孝無古今才學夙尸祝經過桑梓地何邊認舊宅欲起
英魂問平生何所讀

君達從至笠岡其鄉也使之畱而余獨西
省母歸心吾直往逢兄情話汝須畱終然一片相扶意隨
我依依到藝州

至竹原與陳甫同舟赴廣嶋
來路遙遙指海瞰心期明日見慈尊朝煙漸散波如織柔

台明改 兵 兵船

櫓搖過貓子門

山陽先生選集卷五

舟過暗門之詩ハマニ自由自在天從心所欲云揚示初世局ニハゴクノ

其尾ハ瀨山ノ岩ヲタナワツテ運漕ノ為ニ使陸ニシタ

昔守 一ハ昔シ清盛ノ安藝守ヲ知スルハ暗門ヲコシクタクヲ云

當日 一ハ昔シ清盛ノ山ヲスチワル位ノカラ勢ガ有テ誠ニ暗川ヲ作ルキ

至今 一ハ程ノ清盛ノ暗門ヲ捨テヲカシタヨ天今至ルマテモオキヨツテ運

漕ハセルモ大ニ直ニシチテ運ニユク

右事 一ハ行ハ何ゾバ暗門ノイドクモ守レ敵ノ船ニクルノハコバ

楊廣 一ハ明ノ時ニクスクリニナルヲ云

杏丈人招飲

聞君賜宅傍川成呼我開尊遣艇迎數畝菜蔬如在野一

賜宅ハ川上カエマシモヤシキナリ
遣艇ハ杏丈人ハ舟ヲ遣シテコノ方ヲ
〇セテカヘテクムレル
退休 一ハ杏丈人ハ官ヲヤメテモ代ノ傳イノ福ヲウケテゴザルヲ云

著作 一ハ情シ杏丈人ハ藝則ノ記録ヲカイタリヲ云

堤篁竹自連城退休猶享傳家祿著作還伸報國情小阮
省親新弛擔不辭侍飲剪燈明

與丈人同舟維于譙下小次

對酌 一ハ云杏
丈人ト一結ニ酒ヲノシ
テアルトモ片誠ニ
イカニ情ヤイカ
外ハハシレ云
波紋 一ハ云天
毛頭カ波ノ紋ガ丈
屋易

間收 一ハ偃月波間影
挂向 一ハ三夕ヲ云

向身邊萬衆看
聞京師地震賦此遣問

郵便得京報變故昔未有今月初二日地震申至丑繼聞

山陽先生選集卷五 詩 七

台明改一兵一官
改秦始皇帝
子三六始皇地脈
夕ナキツテ万里
城ヲ竹葉イタ祭奉
ハ主ニテ亡天計テ
長城ハマテワズ
如天漢ヤ唐ヤ片大
ニシテ長城ガ重宝
テ兵ヲ滅シテモソ長
城大ニ夷狄イテマ
格ニラセタルヲ今
唐盛モ暗ハナ梅テ
シ大勢ノノツカラ
シ且又自今亡天計
テモ皆後世ニテ暗
門ガ便利テ重宝ニ
ナルヲヲタモノ

檣搖過貓子門

○舟過暗門志喜示同舟兼甫從弟

吾數過暗門此行審其形。瀨山抱海陸。曲為藝東屏。誰鑿
斷其尾。昔守姓曰平。當日排山力。斧鉞驅萬丁。至今賴其
利。船運通捷程。有事守喉咽。可抗敵船行。嬴政絕地脈。漢
唐滅戍兵。楊廣穿汴水。漕粟資宋明。暴人自費力。如為後
代成。壯哉父母國。便安誰得爭。省親數由此。潮應如瓶傾。
鄉扮已在眼。作詩紀我情。

杏文人招飲

聞君賜宅傍川成。呼我開尊遣艇迎。數畝菜蔬如在野。一

退休
○賜宅六甲上カエ草夕
シモヤキノ
遣艇迎杏文人か
舟ヲ乗シテコソ方ヲ
ノセテ分レテタレル
「杏文人ハ官ヲヤメテモマダ代ノ侍イノ祿ヲウケテガザルヲ云」

著作
情「杏文人ハ藝ヲカキタリヲ云」
記録ヲカイタリヲ云

堤篁竹自連城。退休猶享傳家祿。著作還伸報國情。小阮
省親新弛擔。不辭侍飲剪燈明。

與丈人同舟維于譙下小飲

翠楊根露繫。輪船佐酒青梅與紫蘇。對酌一瓢人不識。波
紋細細上眉鬚。

源廷尉收弓波上圖

弓力誰嘲扎不穿。南軍落鼓膽先寒。閒收偃月波。閒影挂
向身邊萬衆看。

聞京師地震賦此遣問

郵便得京報。變故昔未有。今月初二日。地震申至丑。繼聞

對酌
○對酌一云杏
文人ハ一統ニ屬ス
テアルトモ片誠ニ
シカニ情ヤイ知カ
久クハシレシ云
波紋
○波紋一云天
人ノ眉ヤ影波ニ映
ルヲ云クモ
弓力
○弓力一云弓
力ガ板一枚ツキト
アハカイヤカシテ
南軍
○南軍一云南
軍ガ方ニ屬ス
射ヲトサレテ城ニ
キモイ

車搦 七晝夜。車感也。次川。頁。二。中。守。...

難濱 是。巨。若。一。鴨。川。之。名。カ。タ。コ。ノ。方。カ。...

大兒 付。テ。ヨ。バ。テ。天。モ。ノ。カ。レ。タ。シ。ラ。シ。...

西復 母。巨。一。葉。ハ。ナ。ク。成。テ。射。テ。モ。ミ。ナ。子。ヲ。...

山陽 地。震。元。カ。カ。ク。ズ。レ。テ。射。テ。モ。ミ。ナ。子。...

存没 此。方。ノ。友。存。シ。テ。カ。没。シ。テ。ラ。ツ。タ。カ。イ。...

災禍 某。巨。ハ。地。震。ノ。様。ナ。ク。火。難。下。ニ。...

後 遙。想。ト。心。配。テ。シ。ク。シ。テ。...

相 柳。巨。ハ。三。子。供。連。テ。セ。ト。イ。テ。...

石 柳。巨。ハ。三。子。供。連。テ。セ。ト。イ。テ。...

雲北 奔。海。雨。龍。吟。吼。耿耿。杞。人。心。長。歌。強。拊。缶。...

題畫孔雀 自顧鱗鱗金翠衣。故來猶帶舊恩輝。文章圖報豈無所。...

合海雲淡處飛。發廣嶋。兒送自厓返。爺舟猶未發。返至橋頭望。...

任時 還時 七。ワ。ス。ラ。ッ。天。ウ。...

七。ワ。ス。ラ。ッ。天。ウ。...

七。ワ。ス。ラ。ッ。天。ウ。...

七。ワ。ス。ラ。ッ。天。ウ。...

七。ワ。ス。ラ。ッ。天。ウ。...

七。ワ。ス。ラ。ッ。天。ウ。...

七。ワ。ス。ラ。ッ。天。ウ。...

七。ワ。ス。ラ。ッ。天。ウ。...

師通 生。擗 露 負。書 黔 譴 定 後

車搗
七晝夜連撼地欲剖。顛天沸啼哭。十室壞八九。提家席通

七晝夜連撼地欲剖。顛天沸啼哭。十室壞八九。提家席通

六數
一辰天。數が天明。キマタ。後シテ。キテ。コノ。様。大。災。難。ハ。アル。ト。ミル。辰。一。シ

下土
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

仰看
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

取
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

信岳震且崩。饑民起相蹂。天數有周復。下土誰任咎。仰看

心配
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

相
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

石
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

文章
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

文章
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

文章
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

文章
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

文章
一辰。天。ノ。地。ニ。アル。人。ノ。内。天。外。カ。コノ。天。ノ。ト。ガ。ン。ヌ。ヒ。キ。ウ。ケル。ゾ。ル。云。一。三。天。イ。ハ

往時衝暑氣。三旬患瘟疫。還時侵秋冷。病痢忽復劇。念親

別母猶夢母。分明侍膝前。醒來知那處。蓬底獨爲眠。

東上道中獲疾作此遣悶

兒送自厓返。爺舟猶未發。返至橋頭望。舟燈應明滅。

發廣嶋

詩
八

車擗 七晝夜連撼地欲剖。顛天沸啼哭。十室壞八九。提家席通衢。屋瓦墜左右。吾家無隻字。東望十搔首。遙想鴨厓屋。穉子依弱婦。相牽避沙中。又怕無居守。石岸應盡頽。唯餘露根柳。灘淡沙渚遠。不知能逃走。大兒能厲揭。小兒付婢負。覆巢得全卵。拮据瘠其母。虛任一家憂。向汝覺顏厚。爲書付急遞。待報旬餘久。存沒未可知。茫茫曷向扣。災侵被黔黎。豈可論誰某。側聞北闕事。如星入南斗。垂拱萬不與。譴怒一還受。螻蟻敢訴患。具瞻可額手。坂城及餘震。江門定安否。糴價當暴騰。喁喁億萬口。吾聞天明災。三都相先後。信岳震且崩。饑民起相蹂。天數有周復。下土誰任咎。仰看

相牽 石岸 柳 餘 坂城 江門 天明 災 三都 相先後 仰看

文章 自顧 鱗鱗 金翠衣 故來 猶帶 善恩輝 文章圖報 豈無 所祗 合海雲淡處飛

七晝夜連撼地欲剖。顛天沸啼哭。十室壞八九。提家席通衢。屋瓦墜左右。吾家無隻字。東望十搔首。遙想鴨厓屋。穉子依弱婦。相牽避沙中。又怕無居守。石岸應盡頽。唯餘露根柳。灘淡沙渚遠。不知能逃走。大兒能厲揭。小兒付婢負。覆巢得全卵。拮据瘠其母。虛任一家憂。向汝覺顏厚。爲書付急遞。待報旬餘久。存沒未可知。茫茫曷向扣。災侵被黔黎。豈可論誰某。側聞北闕事。如星入南斗。垂拱萬不與。譴怒一還受。螻蟻敢訴患。具瞻可額手。坂城及餘震。江門定安否。糴價當暴騰。喁喁億萬口。吾聞天明災。三都相先後。信岳震且崩。饑民起相蹂。天數有周復。下土誰任咎。仰看雲北奔。海雨龍吟吼。耿耿杞人心。長歌強拊缶。題畫孔雀。自顧鱗鱗金翠衣。故來猶帶善恩輝。文章圖報豈無所。祗合海雲淡處飛。發廣嶋。兒送自厓返。爺舟猶未發。返至橋頭望。舟燈應明滅。翌曉作。別母猶夢母。分明侍膝前。醒來知那處。蓬底獨爲眠。東上道中獲疾作此遣悶。往時衝暑氣。三旬患瘟疫。還時侵秋冷。病痢忽復劇。念親

詩 八

念親 夕に急を驚かす 方五片の母を念天急に 京都に方へ帰ルハ九回

十 哀内を念天急に 誠三存延シテヤドニ泊テモ 晨ハ早ク宿屋ヲ

誰向 戦兵タシカコノ方ハラワタニ向テナンボシカ人ホコフツキサス云フニテク

中 病ヲ癒スルヲイクサシムヘテタツニテ九回 賜 病氣ノ重ク成テキ

鳥 鳥羽伝知ヲ通テ 裂有痕 綫 傾壁纔撐柱 街陌整如故 到家方四鼓 屋矮敗不甚 依

出難無 院 院ハガクコトク難ヲ出ス 意カナイヨテ 度大軍ガセ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

邱 傾壁纔撐柱 街陌整如故 到家方四鼓 屋矮敗不甚 依

屋 屋矮 宇レハコノ方ノ家ハ至テチサイヨテ 地震ノ件ヲモソレドニヤアレモセナシニヨテアヒカワラス 屋ニ

出難無 院 院ハガクコトク難ヲ出ス 意カナイヨテ 度大軍ガセ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

出難無 院 院ハガクコトク難ヲ出ス 意カナイヨテ 度大軍ガセ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

1. 山道ノコトキタヲ大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ニナラシ

念親 夕しにサササ 方ニ年毎天急クシ 京都ノ方ノ降ルルハ
良肉ヲ食テ急クシヤ言テ誠ニ存テシテヤドニ泊テモ 晨ハ早ク宿ヲ不
出立セルルルマタ日暮ニ成テモアルク

誰向 戦ハタシガコノ方ノラワタニ向テナンボシカホコフツキサス云フニテク
痴病ヲ發スルヲイクサシテヘテタフニテ九回賜 云ハラウクガコノツクマワイニ
中白 云ハコトニセマツテ執ヒガ急ニ成テキタフニテ病氣ノ重ク成テキ
白道 云ハ道 鄙イマシメテ頻ニカセイ書ヲ傳ルル云フニテ病氣ノ重ク
介抱人ヲタマフトスル

出難無 院ハガクコトク難ヲ出スルル意ガナイヨテ丁度大軍ガセ
イ山道ノムコニテキタ将大モノニテコノ病氣ガ至テ 重ク成テ中ノナラシ
如ク云

屋舞 宇レハコ 方ノ家ハ至テチサイヨテ 地震ノ件ヲモソレドニヤアレモセナンカニヨテアヒカワラス 屋ニ

遇 震時 旦サテ山陽ガ地震ニアタタキハ 為テ有テトクダスニテ妻子タテ
コタントシテ後ヲ含テ早連ニイワシ
談 無序レハ大群ノ書生ニ在リ 地震ノキクテ互ニハスヨテキナシトシタ序ニ
ナイフヨ云
墙 屋ノ緒ニ事カ山陽ニ向テニハタタタタ 墙ナドモツツソクツテナイタシ
ソレモハヤ屋ヤ 葦モツキケテ私ノウレハ 万箇モ重テ云ルヨロシイ知レカ
置 是レハ年ヤサ新ノウレハハナレハマツアトヘマツテフケヨ云

世色 思テミレハコノコトヲセテ
シテ後ヲ含テ早連ニイワシ
葦モツキケテ私ノウレハ 万箇モ重テ云ルヨロシイ知レカ
多北カセルフヨ云

既見妻兒面 回頭憶阿孃 阿孃難可見 江海頓茫茫
秋風吹吾冷 還吹木葉飛 吹到故園樹 莫侵慈母衣
到家後書適 困眼至云炎天示目
炎沙没脚兩鞋穿 困眼唯依笠影圓 回首行程如隔世 木
樨香裏擁衾眠

厄ハ地震ニ後ヲ云
ナリ

又念家奔走窮晨夕。母親雖就安。妻兒還遇厄。誰向九回腸。更刺萬枝戟。中迫勢惶急。邊警頻傳檄。出難無下意。大

患大 威定一伝ゴトニコノ柄テウレヘテ 難多ヲスル大ナル山ノ如クトエライ
ナレ氏ゴノ柄ニモカシテ居テ何トモオモワズ 安適ヲ要シテヲ子ハナラシト畢
音レコノ位ノハハカレト 葉シテ云ニクシト 下ヤヨテ何モシツクハ死ス
セシテモヨイ伝フニシテ 病氣ヲ思ヒ切テシマツタフ云ナリ
堅生 一伝ハ宿ニサシキニ生シテボツ子トシテ 燈ニシテモキテアル

震後歸京城。伏水變泊所。收繹上淀橋。傲輿徑鳥羽。道路裂有痕。緣旋賴明炬。炬光中窺看。人家壞未補。墜瓦堆成邱。傾壁纔撐柱。街陌整如故。到家方四鼓。屋矮敗不甚。依

レテ舟ヲツケルトコロカ
レテシタ
傲輿 一 相シ伝ハ淀
橋 上ニカゴヲヤトフテ
鳥羽 伝知フ通テ 敗
ユク
縁旋 一 炬ニ伝ハ
道ヲシツテユクフハアルハ
火ヲトモシテヤクハアル
トモ
傾壁 一 柱ニ伝ハ知
ニ 壁ナドガクズレテ居
テワスカニシテ又ケサ
ハオギナツテアル

然瞻衡宇。家中防盜賊。聞語慳開戶。山妻面帶瘦。呼兒起拜父。力疾奔千里。嵩為欲見汝。遇震時何如。將荅色先沮。婢僕進攙說。挑燈談無序。墻屋粗復舊。米薪憂萬緒。置是且温酒。生存喜幾許。

屋矮 一 宇レ伝ハコ
方 家ハ至テチサイヨテ
地震ノ成テモソレドニヤ
アレモセナシトヨテア
ヒカワラス 屋ニ
中ニ 一 厄ニサテ地震
後ニ 家内ニモハ 盜賊
ヲフセイテアルヨテ
方ニ 声ヲキイテモ心
配シテ早速ニ
力疾 一 女レコノ向
勤 其カナクササテ今
度 病ヒラツトメテ千里
奔テ 力ヲキククニサ
シテ 力ヲウチテ力ヲ
シテ 力ヲウチテ力ヲ
ハ知 妻子ノ

憶母二首

ロ詩ニ三首氏三名別
ナル詩ニハナイ伝

既見妻兒面。回頭憶阿孃。阿孃難可見。江海頓茫茫。秋風吹吾冷。還吹木葉飛。吹到故園樹。莫侵慈母衣。

到家後書適 團眼ニ至テ炎天示目
ナロツクフヲ云
炎沙沒脚兩鞋穿。困眼唯依笠影圓。回首行程如隔世。木樨香裏擁衾眠。

團眼 一 世ニ色
思テシレハゴノコト
シテ 炎天ニ至テ
炎天ニ至テ炎天示目
ナロツクフヲ云

玉芽蘭花

香苞未拆

已離家

渠儂亦恨無人賞

待我歸來重著花

新歸飲酒

吾家皆無恙

吾柳亦依然

吾蘭華再發

吾桂香未殘

相共待吾歸

何以賀平安

呼婦開吾酒

久藏無點酸

醉盼柳蘭桂

欣欣竝怡顏

觀藏畫示在壑

廣江大聲

華石湖暮色圖

曾弄興華暮色圖

老練暈墨苦模糊

今朝挂得晴窗側

呼汝雲烟評有無

盆蘭含露吐芳腴

壁畫映明看淅濡

一日晴窗清福足

當分

分軟半與君俱

題竹洞春琴與余合作山水

詩詩ハヨロシキ

施皴容易設枝難

林有姿容石貌頑

磊砢胸中存粉本

諸未須

知君

日暖霜乾未舉危

大樽磊落到門遲

回頭欲罵東籬菊

汝有何忙放一枝

酒未至

丹人約贈

詩詩ハヨロシキ

新歸飲酒

吾家皆無恙

吾柳亦依然

吾蘭華再發

吾桂香未殘

相共待吾歸

何以賀平安

呼婦開吾酒

久藏無點酸

醉盼柳蘭桂

欣欣竝怡顏

觀藏畫示在壑

廣江大聲

華石湖暮色圖

曾弄興華暮色圖

老練暈墨苦模糊

今朝挂得晴窗側

呼汝雲烟評有無

盆蘭含露吐芳腴

壁畫映明看淅濡

一日晴窗清福足

當分

分軟半與君俱

題竹洞春琴與余合作山水

詩詩ハヨロシキ

施皴容易設枝難

林有姿容石貌頑

磊砢胸中存粉本

諸未須

知君

日暖霜乾未舉危

大樽磊落到門遲

回頭欲罵東籬菊

汝有何忙放一枝

酒未至

丹人約贈

重陽

詩詩ハヨロシキ

詩詩ハヨロシキ

詩詩ハヨロシキ

玉芽蘭花

久藏

醉盼

老練

呼女

當分

施皴

未須

知君

倪迂

分軟半與君俱

題竹洞春琴與余合作山水

施皴容易設枝難林有姿容石貌頑磊砢胸中存粉本諸

未須

知君

倪迂

分軟半與君俱

憶昨盆蘭字玉芽香苞未拆已離家渠儂亦恨無人賞待我歸來重著花

新歸飲酒

吾家皆無恙吾柳亦依然吾蘭華再發吾桂香未殘相共待吾歸何以賀平安呼婦開吾酒久藏無點酸醉盼柳蘭桂欣欣竝怡顏

觀藏畫示在壑廣江大聲

曾弄興華暮色圖老練暈墨苦模糊今朝挂得晴窗側呼汝雲烟評有無

盆蘭含露吐芳腴壁畫映明看淅濡一日晴窗清福足當

分軟半與君俱

題竹洞春琴與余合作山水

施皴容易設枝難林有姿容石貌頑磊砢胸中存粉本諸

未須 知君 倪迂 分軟半與君俱 題竹洞春琴與余合作山水 施皴容易設枝難林有姿容石貌頑磊砢胸中存粉本諸

日暖霜乾未舉危大樽磊落到門遲回頭欲罵東籬菊汝有何忙放一枝

酒未至

詩

十

玉芽蘭花
香苞未拆
已離家
渠儂亦恨無人賞
待我歸來重著花

新歸飲酒

コノ詩宣キ詩外ハ人テハ中イカン云

吾家皆無恙。吾柳亦依然。吾蘭華再發。吾桂香未殘。相共待吾歸。何以賀平安。呼婦開吾酒。久藏無點酸。醉盼柳蘭桂。欣欣竝怡顏。

觀藏畫示在壑廣江大聲

明盛茂燁字興華石湖暮色圖

曾弄興華暮色圖。老練暈墨苦模糊。今朝挂得晴窗側。呼汝雲烟評有無。

盆蘭含露吐芳腴。壁畫映明看淅濡。一日晴窗清福足。當

當分
君君ハ廣江大聲ハ
山ニシテツケテヤク
ハアヤスイケレハ枝ヲ
カクテハ枝ニマタ色ミ
有テカクスカスガクハ
有テカクスカスガクハ
有テカクスカスガクハ

分軟半與君俱

題竹洞春琴與余合作山水

コノ詩ハヨロシキ詩ト云

施皴容易設枝難。林有姿容石貌頑。磊砢胸中存粉本。諸君為樹我為山。

題竹洞倪法寒林圖

欲擬倪迂果若何。未須折帶作陂陀。知君惜墨如金處。不待傍觀喚亦過。

重陽

日暖霜乾未舉危。大樽磊落到門遲。回頭欲罵東籬菊。汝有何忙放一枝。
丹人約贈酒未至

絶海——辰又海へハ天寒氣烈ハハ、脛明齊 辰ヲカシテ又着ニ夕格大モノモトツ

千嶋——初年辰五ノ肉ニ十モ嶋カアツテソノ人ハ言語モハツキイトワカズ、

人ハ常平生シラヤヤ、ホコ又持天山クマナドドトルヲ丁度日本天ヲスキワテ

持天耕ス信シ職分ニシテルニシテ格大モノヲ日本ノ領分ニシタ知カ彼ニ又云

此心——師 辰ハ此方ハ心ハ貴分ハカ、カテククセシ、フ大モノ、中ニ大名、

曾謝——娛コノ方ハ藝別ノ方ハ、儒官ヲ、解シテラウ、中書本、

懷中——餘ツクケイ山水ヲカイト大名ヲタシメテ、オモイセテ、思ス何カ、詩経、

凡一篇モ、詩カ有テ、詩、百姓カ、耕作、作、詩、

イラザル、テ、丁、度、蛇、ニ、足、ヲ、シ、タ、格、大、モノ、ハ、ハ、ヤ、甲、亮、ヲ、シ、テ、通、政、ヲ、カ、イ、タ、モ、実、ニ、

ゴトキ、大、般、若、ノ、書、ヲ、アラ、ワ、サ、セル、辰、ヲ、ヲ、熱、シ、テ、識、テ、ラ、ナ、カ、ラ、苦、シ、辰、ヲ、通、政、ヲ、著、シ、タ、ハ、実、ニ、イ、

五首目 勤 辰ハ、勤、辰ハ、人ノ、作ル、聯句、ハ、守、モ、邪、ハ、ニ、ナ、ラ、ス、誠、流、動、カ、不、合

陳編——平、辰、コノ、方、書、ヲ、アラ、ワ、ス、ニ、モ、口、カラ、從、横、ニ、示、ホ、ク、イ、フ、云、フ、ハ、マ、ニ、ル、ス、カ、

未必、諸、言、—— 兼、辰、コノ、方、書、物、ニ、色、ニ、大、語、言、又、座、テ、ラ、ン、年、稟、ハ、カ、ワ、イ、ニ、ル、辰

藝苑—— 辰ハ、都、ヲ、シ、儒、者、有、屋、ガ、色、シ、シ、文、ヤ、書、ヲ、著、テ、互、ニ、評、テ、ヲ、シ、テ、コノ

吾無—— 君、辰、コノ、方、ハ、何、モ、周、礼、ヒ、ト、シ、ハ、ラ、イ、レ、テ、ヲ、ル、コ、ト、イ、フ、ニ、ヨ、テ、五、三、自、多、ク、

文亦、似、上、青天

洪流日夜淺成溪。未缺金甌自古今。策漢過秦同一意。無

絶海——
テアルク
嶋——
人ハ常平生
持天耕ス位

比心——
師——
如天少陽
曾謝——
餘ツク
懷中——
凡——
子詩

心——
師——
如天少陽
曾謝——
餘ツク
懷中——
凡——
子詩

陳編——
平——
未必詔言
四首
藝苑——
吾無——
文亦似上青天

洪流日夜淺成溪
未缺金甌自古今
策漢過秦同一意
無

山陽先生遺稿卷五
詩
十一

懸厓
工かモハハカケハ
天雷ノフルヤニ多ク
人キモナルトテ
分ニナルト

磊砢
方ハ胸積カマカ
中ニ横テアルヨ
ヲ自ニタツテ
カケテヌテ
玉ノハイテ
テバタノト
子タクハカ

傍觀
コノ通議
コノ通議
コノ通議
コノ通議
コノ通議

題蝦夷人圖

懸厓雪採罷熊膽絕海冰又膺膈齊千嶋侏離歸版籍桑
弧鍬戟是鋤犁

古賀溥卿為其藩侯索吾畫寄以絹一幅書此辭之

磊砢橫胸不自持吐為狂墨漫淋漓此心應有故人識敢

向侯門喚畫師

曾謝橫經弄翰儒寧將餘技待觀娛懷中畫本猶堪獻

彷彿風七月圖

題新著通議後七首

傍觀時議添蛇足熟識宦途編虎鬚卻有世情灰不盡著

世情ハ山陽自今ノ情

五首目
勤ハ勤學
勤ハ勤學
勤ハ勤學
勤ハ勤學
勤ハ勤學

和仲
和仲ハ和仲
和仲ハ和仲
和仲ハ和仲
和仲ハ和仲
和仲ハ和仲

學文
學文ハ學文
學文ハ學文
學文ハ學文
學文ハ學文
學文ハ學文

未缺
未缺ハ未缺
未缺ハ未缺
未缺ハ未缺
未缺ハ未缺
未缺ハ未缺

策
策ハ策
策ハ策
策ハ策
策ハ策
策ハ策

心ハ心
心ハ心
心ハ心
心ハ心
心ハ心

懸厓コトハサテ 雪採ユキ 罷熊膽クマノシヅメ 絕海冰ツクシ 又脰膈ノド 齊千嶋チチノシマ 侏離歸チリノカミ 版籍桑イハヒ

磊砢レイカ 橫胸コウキョウ 不自持ミナクサマシ 吐為狂クハキヤクシ 墨漫淋漓スミマシ 此心應有故人識ココロニシテトコノトシ 敢オモシ

傍觀ボウカン 時議トキギ 添蛇足ソウゼツ 熟識ジュシキ 宦途クワント 編虎鬚ヘンコ 卻有世情シカモセ 灰不盡ハイナク 著カキ

肉食ニクシ 謀存ボウゾン 誰置タレオキ 評ヒラ 自嘲ジヤウチヤウ 多事タシ 老書生ラウシヤウシヤウ 一窻イツウ 風雪フウセツ 妻兒ツメコ 臥シヤ 奮フン

筆燈ヒツトウ 前紙ゼンシ 有聲ユウシヤウ 陳編チンペン 儘許ジンコ 口縱橫クハシヤウ 敢趁カンチン 諸公シヨウコウ 贊太平サンテイヘイ 未必ミナク 語言ゴゴン 當菽粟トウシヤク 且ナニ

題蝦夷人圖コトヲシテ詩ハ大議論ヲ

懸厓雪採罷熊膽絕海冰又脰膈齊千嶋侏離歸版籍桑
孤缺戟是鋤犁

古賀溥卿為其藩侯索吾畫寄以絹一幅書此辭之

磊砢橫胸不自持吐為狂墨漫淋漓此心應有故人識敢

向侯門喚畫師

曾謝橫經弄翰儒寧將餘技待觀娛懷中畫本猶堪獻彷彿

佛函風七月圖

題新著通議後七首

傍觀時議添蛇足熟識宦途編虎鬚卻有世情灰不盡著

肉食謀存誰置評自嘲多事老書生一窻風雪妻兒臥奮

筆燈前紙有聲陳編儘許口縱橫敢趁諸公贊太平未必語言當菽粟且

憑筆墨鬪蛟鯨藝苑鴻文錯典墳儒林閱議婉河汾吾無周禮橫胸裡直

攄肝腸寫示君敬輿駢體含流動和仲分篇見貫穿跛鼈自知千里隔學

文亦似上青天洪流日夜淺成溪未缺金甌自古今策漢過秦同一意無

人識得賈生心

半生歲月酒中消 落魄耽詩鬢欲凋 小杜唯留二論在 豈

無身後李文饒 文饒多格人か出テ生テ通後ヲ愛シテクレナイモ云

中ハ世尚テ重シク色ニト上キヤ人ハタジヤ長テソシクハホクタイ

スルハ誠ニ主トシテクニヤカマイケレ氏カ一重山ニ身ガシヨクニトシテホクタイ

ソシクハスルハ誠ニ主トシテクニヤカマイケレ氏カ一重山ニ身ガシヨクニトシテホクタイ

到經營修滄中

氣モキエテ世モ治テフルカニテ廣元ガ賴朝ノ威勢ヲ半分ハワケテソシテマル

料陰分一半秋

喜獲貓

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

幕中拜此賜 匹如官袍被 姓李囊攜萬里獻 尊親寧同畫

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

ハハイカモキツラナ子コヌヲクノ多サレタヨウウレイロフ

小杜ハ杜牧之の字ニテ
杜牧之ハ二論下カニテ
テカシタス杜牧之ハ
セシ後ニ季文鏡ハ
有テシニ論ヲ受

人識得賈生心

半生歲月酒中消 落魄耽詩鬢欲凋 小杜唯留二論在 豈

終ハ中ハ世向天 雨ハ天色ニト上キヤ人ハ夕ヤ辰テツシタリホメタリ
スルハ誠ニ由イテクルコトクニヤカマイケレ氏ガハ 雲山ハ耳ガツシボエトシトホメタリ
ソシタリスルハカキコトニ 經營慘澹中 云ハ 雨ヲウケルニ工夫ヲシテナル如ク云

連雲ハ秋ハ瑞穂ハ年ハマツネハ沢山ニ寄リニ連テ出来テツクハ兵
氣モキエテ世モ治テフルハ天廣元ガ頼朝ハ威勢ヲ半分ハワケテトツテナル
イタレモハカルモ分ナイ云ハ 三テ希ニ年ハ 云云タヨテ後ハ如テ秋ハ字ヲハ
フタモノナリ

命名 菟レキツツ大子コシヤニヨテコトヲ名ヲツケタリ
戒兒 書レ云ハ山陽博ニ戒テ此中ハハ子ヨヲ 輕シクナレモテアソフハナラシヨモ子ヨヲシヨイ
子ズガケク トナ書
送致 一云ハイカモキツツナ子コヲシクハ多サレタヨテウレハ
齋體 長須ハ云ハ子ヨシカラカハ誠ニキレテヨキニヤビクナドガハテナル

織 朝日ハモ織 朝日ハモ織 朝日ハモ織 朝日ハモ織
日蝦夷錦 獲云分ノ錦 蝦夷ハ織タ織タ錦 氏云又ツテハナイ北ハ方ハヨロ
山名 隨多舟曹 來官舟三ツテアルハ商人ハ吳國ハモ又云クトハナイ云テハナイ
親獲 奇ハ佐田氏ハカエツ錦ヲ 松前ハ方ハエテキタハハ美ニ大ナル

二 囊推 親 辰ハ佐田氏ハ 松前侯ニ丁大シタ錦ヲ代官中ハイテ大ニ推テ
方里モ西ハ テカラ親ニシテ錦ヲケシルハ 實ニ勤厚ナル人ジヤ云
富同 貴 辰ハ佐田氏ハ 錦ヲ丁大シテモ中ニシテ書錦ヲ云テ富貴ヲ
自慢シテカハル持ナ人ト同ジカラシソシト人ハナイトホメテ云々云

小杜ハ杜牧之ノリニ

杜牧之ハニ論下ハイニ
テフカシタス杜牧之ハ
セシ後ニ李李文饒ハ
有テソノニ論ヲ受
タフガアツクニヨテ
カイテ死ニテモマタ
雲山翁ハ一聰臣ハ
テモ心カツンボテイ
山水ノ清音ノ如ク
ウツシエルト誠ニ業ハ
聰明ナリヨ

朝局一筋ハ云々
元朝廷天久向
イ下ハイニ居
幕中一筋ハ云々
元朝廷天久向
ラレニ必ニヨテ
無シハ
子ズガテウクトナ
ハスルニヨテ火ヲトモシテ
送致
ハハイカニモキツラナ
子コナラシム
長須ハハ子コシカラ
ニギレイテヨキバヤ
ビハナドガハテマル

朝局久持人後笏幕中來運食前籌連雲瑞穂消兵氣誰
料陰分一半秋
喜獲貓

人識得賈生心

半生歲月酒中消落魄耽詩鬢欲凋小杜唯雷二論在豈
無身後李文饒

雲山乞詩

雲叟耳聾心不聾清音寫得筆端聰紛紛毀譽如塘沸不
到經營慘澹中

詠大江廣元

朝局久持人後笏幕中來運食前籌連雲瑞穂消兵氣誰
料陰分一半秋

喜獲貓

織

朝日日本モ織イコシテソレガマツスルニミルトアカカ
日蝦夷錦獲云云ノ錦又蝦夷天織又錦氏云又ウテハナイ北ノ方ノヨロ
シト云吳國天格天モ又五三交易シテ得ク云云人ガアツナ
山岩之奇 隨舟賈 來云云舟三ツ天アルク商人ガ吳國ノモノ又云クルト人ナイ云云
親獲 奇ナク 佐田氏ガ工ノ錦又松前ノ方天工天キタノハ云々
南筑前人 佐田修平氏ノ有テ今度再送天字
還蓬 旗ハ云々佐田氏ノ東北ノ方ニ夷マテハカツテ松前ノ土用子日
出右天誠ニ色ニメスラシキ送具又平氣サテニセテセラル
揮毫 賜ハ佐田氏ガ松前侯ノ弟天ナシ認テソコ天澗筆料ニヨ錦
正如 李白ニトウラセニダツクニヨクニテナル

匹如

李白今佐田氏ガ松前侯ノ弟天ナシ認テソコ天澗筆料ニヨ錦
正如 李白ニトウラセニダツクニヨクニテナル

人識得賈生心。

半生歲月酒中消。落魄耽詩鬢欲凋。小杜唯留二論在。豈

無身後李文饒。文饒三格人か出テ、朱天國後ヲ愛シテクレマシ、モノモ

雲山乞詩

雲叟耳聾心不聾。清音寫得筆端聰。紛紛毀譽如塘沸。不

到經營慘澹中。

詠大江廣元

朝局久持人後笏。幕中來運食前籌。連雲瑞穗消兵氣。誰

料陰分一半秋。鋪倉、方へ、未天帷幕、中三分、一、ヲメ、ラ、シ、ス、

喜獲貓

小杜ハ杜牧之ノリニテ
杜牧之ハ二論下ハイニ
テ、カシタス、杜牧之ハ
セ、後、三、季、文、饒、人
カ、有、テ、リ、ニ、論、ヲ、愛
シ、テ、カ、ア、ツ、ク、ニ、ヨ、テ、
カ、イ、テ、死、シ、テ、モ、マ、タ、
云、叟、一、聰、心、ハ、
雲、山、翁、ハ、耳、ハ、聾、
テ、モ、心、ハ、ツ、ク、ホ、テ、
山、水、ノ、清、音、ノ、如、ク、
ウ、ツ、シ、エ、ル、ト、誠、ニ、
聰明、ナ、リ、ヲ、云、フ、

命名 蒐レキツンナ子コシヤ
戒兒 書レシ山陽、
草、タ、ツ、テ、コ、ノ、方、ノ、
カ、ス、ル、ニ、ヨ、テ、火、ヲ、
送、致、ハ、イ、カ、モ、キ、
遍、體、ハ、ハ、子、コ、シ、
嗽、嚔、一、無、シ、
子、ズ、ガ、ク、ト、ナ、
ハ、ス、ル、ニ、ヨ、テ、火、ヲ、
送、致、ハ、イ、カ、モ、キ、
遍、體、ハ、ハ、子、コ、シ、

嗽嚔有聲燭則無。一寢十起欲何如。殷勤憑君索狸奴。送

致俊物喜有餘。遍體斑文好牙鬚。命名當喚小於菟。必辨

我賊隨指呼。己覺群黠絕。昨昨戒兒勿輕狎。玩渠渠能先

汝護爺書

蝦夷錦歌為筑後佐田修平作

紫鳳蹴濤天。吳躍一丈團窠雲。五色織以冰蠶寫。海暎正

視則赤側視碧。曰蝦夷錦或曰非。北狄所製互市獲。豈無

海賈遞鬻來。親獲夷疆事大奇。南筑有人學於武。裹足更

究東北夷。還逢松藩大閱日。縱觀罽毼弧箭隨。旛旗揮毫

幕中拜此賜。匹如宮袍被姓李。囊攜萬里獻尊親。寧同畫

旋誇富貴君不見每教無復冬

海徵 魚一凡魚ヲ警言ハ異國船來カ本ヤカマシキヲヲ云タモシテモ只今存世

投筆 車一巨只存公太平ノ世又夕シモ筆又大ステイサフヲスル

御把 物一巨今度佐田氏カカチテ筆墨上ナドヲ把テ何ハ松為侯返テ

水聲苦夜久燭光孤庭樹知霜重啞啞起宿鳥

詠山中鹿介

存孤杵臼何忘趙乞救包胥暫託秦嶽嶽驍名誰喚鹿虎
狼世界見麒麟

詠僧文覺

新印袈裟即佛緣風情法力孰超群
鬻髻在袖施何咒掣

合寒日影向杯中倒得不同從
掃榻雷君宿永夜同燈燭君坐讀我詩我臥眠還覺衰情
猶故吾煩君細評駁瓶中水僊花夜久亦吐萼
除夕君彝來同守歲
當我相思夕知君來宿心孤燈歲共守兩鬢霜同侵鄉土

山陽先生遺集卷五 詩 十三

存孤 鹿介 趙乞 包胥 秦嶽 嶽驍 鹿虎 麒麟
海徵 魚 凡魚 警言 異國 船 來 本 ヤ カ マ シ キ ヲ ヲ 云 タ モ シ テ モ 只 今 存 世
投筆 車 巨 只 存 公 太平 ノ 世 又 夕 シ モ 筆 又 大 ス テ イ サ フ ヲ ス ル
御把 物 巨 今 度 佐 田 氏 カ カ チ テ 筆 墨 上 ナ ド ヲ 把 テ 何 ハ 松 為 侯 返 テ
水聲 苦 夜 久 燭 光 孤 庭 樹 知 霜 重 啞 啞 起 宿 鳥
存孤 杵 臼 何 忘 趙 乞 救 包 胥 暫 託 秦 嶽 嶽 驍 名 誰 喚 鹿 虎
狼 世 界 見 麒 麟
新印 袈 裟 即 佛 緣 風 情 法 力 孰 超 群 鬻 髻 在 袖 施 何 咒 掣
合寒 日 影 向 杯 中 倒 得 不 同 從 掃 榻 雷 君 宿 永 夜 同 燈 燭 君 坐 讀 我 詩 我 臥 眠 還 覺 衰 情
猶 故 吾 煩 君 細 評 駁 瓶 中 水 僊 花 夜 久 亦 吐 萼
除夕 君 彝 來 同 守 歲
當 我 相 思 夕 知 君 來 宿 心 孤 燈 歲 共 守 兩 鬢 霜 同 侵 鄉 土

海徴

魚一凡魚ヲ敬言ルハ異國船が来テヤカマシキヲ云々モテ、只存世

投筆

車一巨、只存ハ太平、世ス、タレモ、筆ヲテス、テ、イ、サ、フ、ヲ、

御把

指上テ、ン、コ、ヤ、フ、大、多、テ、テ、キ、タ、モ、テ、大、シ、テ、モ、フ、ケ、エ、タ、

鞍

指上テ、ン、コ、ヤ、フ、大、多、テ、テ、キ、タ、モ、テ、大、シ、テ、モ、フ、ケ、エ、タ、

詞山中鹿介

存孤杵白何忘趙乞救包胥暫託秦嶽嶽驍名誰喚鹿虎
狼世界見麒麟

詠僧文覺

含寒日影向杯中
掃榻留君宿永夜同燈燭
君坐讀我詩我臥眠還覺衰情
猶故吾煩君細評駁
瓶中水僊花夜久亦吐萼
除夕君彝來同守歲
當我相思夕知君來宿心孤燈歲共守
兩鬢霜同侵鄉土

斬命

一髪衣冠の女が文覚三筆
シテ、ク、カ、サ、ル、ト、云、タ、ス、如、名、也、云、云、ハ、外、ミ、タ、ク、男、ガ、ア、ル、ヨ、テ、ソ、男、ヲ、安、分、殺、

含寒日影向杯中
掃榻留君宿永夜同燈燭
君坐讀我詩我臥眠還覺衰情
猶故吾煩君細評駁
瓶中水僊花夜久亦吐萼
除夕君彝來同守歲
當我相思夕知君來宿心孤燈歲共守
兩鬢霜同侵鄉土

君一審し佐田後尖公才多氣ヲナシテ常しモノヨク又ケテソツク文武西
道ヲセイカサシバナラヌ云フテ經ハタテイトクニハタヌヲルモ經ト緯ト
ナケラズハラレニヨテソツク人モ文武西道ヲ得テヲ子ハナラヌ云フテ
成其可用 錦ハ佐田後尖公才ヲ用ルナク布ヤヤ錦ハゴトクカセバ
イカンヨクハコノ錦ハミタ知ハ津破レテハ用ニタシヨテヲ錦ミタ様ニシテ
居テハ彼ニタレソ云フ
否則一道藏レハセモナクハ尖公モツ夷狄ノ格ニ多配ヲソランジテ息
フセキヲタスクル格ニシテヲ錦ニテ久夷狄ノアヤキモノナドヲ寫シテハカクス如
クイ格ニモ子ハイカンヨクハミタ知ハ津破レテハ用ニタシヨテヲ錦ミタ様ニシテ
ヲウレナイハセヌトホシ生云

詠山中鹿介
存孤杵臼何忘趙乞救包胥暫託秦嶽嶽驍名誰喚鹿虎
狼世界見麒麟

存孤 鹿ハ杵臼ノ如クハ中ノ趙
乞救 包胥ノ如クハ秦ノ嶽嶽ノ驍名ヲ誰ニ喚ビテ鹿虎ノ如クハ
狼ノ世界ニ見ル麒麟ノ如クハ

詠僧文覺

斬卻袈裟即佛緣風情法力孰超群
髑髏在袖施何咒掣得擲龍俄起雲

君彝來訪二首

山紫雪亦紫此語君始道君來隔八年
恰逢山雪好玻璃含寒日影向杯中
倒得不同微醺忍寒側我帽
掃榻留君宿永夜同燈燭君坐讀我詩
我臥眠還覺衰情猶故吾煩君細評駁
瓶中水僊花夜久亦吐萼
除夕君彝來同守歲
當我相思夕知君來宿心孤燈歲共守
兩鬢霜同侵鄉土

見情 鹿ハ杵臼ノ如クハ中ノ趙
乞救 包胥ノ如クハ秦ノ嶽嶽ノ驍名ヲ誰ニ喚ビテ鹿虎ノ如クハ
狼ノ世界ニ見ル麒麟ノ如クハ

得又同微醺 鹿ハ杵臼ノ如クハ中ノ趙
乞救 包胥ノ如クハ秦ノ嶽嶽ノ驍名ヲ誰ニ喚ビテ鹿虎ノ如クハ
狼ノ世界ニ見ル麒麟ノ如クハ

旋誇富貴君不見海徼無復警風魚投筆誰敢事戎車卻
把翰墨博遠物較其績藻果何如願君成才拔常品經文
緯武兩研審成其可用如布帛不唯可觀如此錦否則能
諳夷狄情狀資邊防如此錦盡寫水族怪詭無道藏

與登登菴舊社夜坐

コトトモトモハ茶山ツツリカクマ

故人難再遇猶見故人徒舉此三杯酒聊同半夕娛天寒
水聲苦夜久燭光孤庭樹知霜重啞啞起宿鳥

詠山中鹿介

存孤杵白何忘趙乞救包胥暫託秦嶽嶽驍名誰喚鹿虎
狼世界見麒麟

存孤 趙乞救 包胥 秦嶽嶽 驍名 誰喚鹿虎 狼世界 見麒麟
鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介
鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介
鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介 鹿介

詠僧文覺

斬卻袈裟即佛緣風情法力孰超群髑髏在袖施何咒掣
得獐龍俄起雲

君彝來訪二首

山紫雪亦紫此語君始道君來隔八年恰逢山雪好玻璃
含寒日影向杯中倒得不同微醺忍寒側我帽
掃榻留君宿永夜同燈燭君坐讀我詩我臥眠還覺衰情
猶故吾煩君細評駁瓶中水僊花夜久亦吐萼

除夕君彝來同守歲

己亥除夕二首

當我相思夕知君來宿心孤燈歲共守兩鬢霜同侵鄉土

扮榆遠京城鐘漏淡較存慈母在關意信信浮沈

山陽遺稿卷之五 畢

